

令和3年度

紀伊風土記の丘年報

第49号

目 次

I	施設の概要	1
II	博物館活動	2
1	展示	2
2	普及活動	15
3	研修・実習等	18
4	広報活動	22
5	ボランティア活動	23
6	管理運営・環境整備	25
7	特別史跡岩橋千塚古墳群保存修理事業	26
	（1）保存修理事業	
	（2）調査報告	
III	入館者の動向	44
IV	紀伊風土記の丘協議会	45
V	調査・研究	46

I 施設の概要

当館は、特別史跡「岩橋千塚古墳群」の保全と公開活用をはかるため、1971年（昭和46）8月1日に設置された、県立の考古・民俗系博物館施設である（登録博物館1972年（昭和47）6月20日）。総面積672,988㎡（特別史跡629,944㎡）の園内には、約500基の古墳や文化財民家集落、万葉植物園、資料館などを整備している。

①古墳群

園内には約500基の古墳が分布している。石柵と石梁のある特徴的な構造を持った横穴式石室や、竪穴式石室、箱式石棺など14基の古墳の内部施設を見学できるように公開している。園内は、ハイキングコースをともなっており、自然に触れながら文化財に親しめるよう整備している。特別史跡の面積は629,944㎡、管理団体は和歌山県である。

②移築民家

園内には県内各地より移築された重要文化財「旧柳川家住宅 主屋・同前蔵」及び「旧谷山家住宅」、県指定有形文化財「旧谷村まつ氏住宅」及び「旧小早川梅吉氏住宅」を保存・公開展示している。重要文化財2件は日時を定めて床上の公開やイベント等を実施、県指定2件は体験学習の場として活用し、茅葺屋根の保全のため日常的にカマドやイロリを使った燻蒸を実施している。

③和船収蔵施設

館蔵の県指定有形民俗文化財「日高地域の地曳網漁用具及び和船」の一部は、屋外の和船収蔵施設で保存展示、その他の有形民俗資料や文献史料は資料館内収蔵庫にて保管（非公開）している。

④万葉植物園

万葉植物を中心とした植物園で、紀伊国と関連ある四季折々の万葉植物が鑑賞できる。万葉集に歌われた約170種の植物のうち約80種を植栽し公開している。敷地面積は1,650㎡、万葉歌碑5基を設置している。

⑤復元竪穴住居

和歌山市鳴神の音浦遺跡で検出された古墳時代の竪穴住居跡をモデルに平成8年に復元し、古代体験学習の場として活用している。木造茅葺で、面積は23.40㎡である。

⑥資料館

弥生時代の高床倉庫をイメージして建てられた資料館では、岩橋千塚古墳群や県内で出土した遺物を中心に考古資料及び民俗資料を常設展示し、季節ごとに開催する企画展・特別展で考古学・民俗学に関するテーマ展示を実施している。また、古代モノ作り体験などの体験学習の場としても供している。鉄筋コンクリート平屋一部地階で、延面積1,592.50㎡（展示室面積517.6㎡）である。

紀伊風土記の丘に関連する指定文化財 一覧

特別史跡	岩橋千塚古墳群	面積 629,944㎡		
重要文化財	旧柳川家住宅 主屋	木造瓦葺2階建	131.7㎡	海南市内より移築
	前蔵	木造瓦葺2階建	62.5㎡	
	旧谷山家住宅 主屋	木造瓦葺2階建	89.25㎡	海南市内より移築
	倉部分	木造瓦葺平屋建	19.2㎡	
	和歌山県大日山35号墳出土品			園内より出土
県指定有形文化財	旧谷村まつ氏住宅	木造瓦葺平屋建	62.2㎡	有田川町内より移築
	旧小早川梅吉氏住宅	木造瓦葺平屋建	38.4㎡	日高川町内より移築
	有本銅鐸	1点		和歌山市内より出土
	小松原銅鐸	1点		御坊市内より出土
	立野遺跡出土品	532点		すさみ町内より出土
県指定有形民俗文化財	日高地域の地曳網漁用具及び和船	用具87点 文献資料3点 和船1艘		日高町内より寄贈
	保田紙の製作用具	用具54点		有田川町内より寄贈

II 博物館活動

1 展示

(1) 企画展および特別展

①春期企画展「紀州の獅子と獅子頭」

期 間：令和3年3月20日（土）～5月9日（日）

会 期：38日（当該年度分）【前年度44日間】

内 容：和歌山には、地元の人々に長いあいだ愛されてきた獅子の祭りが各地に伝わっている。紀州の獅子は中世に定着し、江戸時代後期になると笛や太鼓のお囃子に乗せて勇壮闊達に奉納される獅子舞が登場して、人々を楽しませるようになる。

獅子の芸能には伝わった時代や様式によってそれぞれ特徴があり、また、獅子頭の貌かたちや素材も時代や地域によって違いがある。本展では、これら紀州人に親しまれる獅子と獅子頭を一堂に会し、その特色や和歌山の祭りの魅力を紹介した。

入館者数：1,432人【前年度261人】 内有料入館者数：433人【前年度82人】

資料名	点数	所有者	市町村	時代
第1章 獅子の貌を見つめる ―古獅子の威風―				
獅子頭	1	野上八幡宮	紀美野町	南北朝時代／14世紀
獅子飼面（青面）	1	野上八幡宮	紀美野町	室町時代／15-16世紀
獅子飼面（赤面）	1	野上八幡宮	紀美野町	室町時代／15-16世紀
獅子頭	1	紀州東照宮	和歌山市	江戸時代／17世紀
獅子頭	1	藤白の獅子舞保存会	海南市	江戸時代／19世紀
獅子頭	1	藤白の獅子舞保存会	海南市	現代／21世紀
天狗面	1	藤白の獅子舞保存会	海南市	江戸時代／18-19世紀
獅子頭	1	丹生都比売神社	かつらぎ町	江戸時代／17-18世紀
第2章 祭りにおける獅子				
獅子頭	1	顯國神社	湯浅町	享保11年（1726年）
オニ面	1	顯國神社	湯浅町	江戸時代／19世紀
ワニ面	1	顯國神社	湯浅町	江戸時代／19世紀
獅子頭	1	広八幡宮	広川町	江戸時代／18-19世紀
広八幡の田楽所用品（オニ面・衣装ほか）	一式	広八幡宮	広川町	現代／21世紀
広八幡の田楽所用品（ワニ面・衣装ほか）	一式	広八幡宮	広川町	現代／21世紀
広八幡の田楽所用品（獅子頭・獅子幕）	一式	広八幡宮	広川町	現代／21世紀
広八幡の田楽所用品（ササラ）	1	広八幡宮	広川町	近代／19-20世紀
広八幡の田楽所用品（縮太鼓・撥）	一式	広八幡宮	広川町	近代／19-20世紀
第3章 日高地域の獅子頭 ―瀬戸内地域との交流―				
獅子頭	1	由良町教育委員会	由良町	昭和61年（1986年）
オニ面	1	横浜区	由良町	正保2年（1645年）
ワニ面	1	横浜区	由良町	正保2年（1645年）
獅子頭（黒）	1	御坊市教育委員会	御坊市	近代／20世紀
御坊獅子頭製作用具	一式	御坊市教育委員会	御坊市	近代／20世紀
第4章 熊野地域の獅子頭 ―伊勢大神楽の影響―				
獅子頭	1	古座獅子舞保存会	串本町	江戸時代／18世紀
獅子頭	1	古座獅子舞保存会	串本町	江戸時代／18世紀
獅子頭・獅子幕	一式	古座獅子舞保存会	串本町	現代／21世紀
鳥兜	1	古座獅子舞保存会	串本町	現代／21世紀
古座獅子舞所用品（扇・剣・玉）	一式	古座獅子舞保存会	串本町	現代／21世紀
獅子頭	1	岡の獅子舞団	上富田町	近代／20世紀
獅子頭	1	岡の獅子舞団	上富田町	現代／21世紀
天狗面	1	岡の獅子舞団	上富田町	現代／21世紀
天狗衣装・帽子	2	岡の獅子舞団	上富田町	現代／21世紀
岡の獅子舞所用品（神楽鈴・剣・ササラ）	一式	岡の獅子舞団	上富田町	現代／21世紀
獅子頭	1	三輪崎郷土芸能保存会	新宮市	現代／21世紀
獅子頭・獅子幕	一式	三輪崎郷土芸能保存会	新宮市	現代／21世紀
扇	1	三輪崎郷土芸能保存会	新宮市	現代／21世紀

②夏期企画展「古代紀伊の神まつり」

期 間：令和3年7月17日（土）～8月29日（日）

会 期：38日【前年度38日間】

内 容： 古代の日本では、身のまわりの火や木、石などさまざまなものに神々や精霊が宿っていると信じられていた。こうした神々らは、穀物の豊かな実りや子孫繁栄など人々に恵みをもたらす一方で、取り扱いを誤ると荒ぶる神として自然災害や疫病などの災いをもたらすと考えられていた。そのため、人々は恵みを求めて、または、災いを避け、鎮めるため、さまざまな祭祀具を用いて神々らに対し“まつり”を行ってきたと考えられる。

本展では、県内の資料を対象に縄文時代から平安時代における集落や水辺、磐座などさまざまな場所で行われた神まつりの祭祀具について紹介し、そこに込められた人々の祈りや思いなどについて紹介した。

入館者数：1,471人【前年791人】 内有料入館者数：435人【前年360人】

資料名	時代	点数	遺跡名	所在	所蔵者
はじめに					
御守、流し雛	昭和時代	4	—	—	当館
船魂サマ	昭和時代	1	—	—	当館
絵馬	昭和時代	6	—	—	当館
人形形代	令和時代	2	—	—	個人
豊穡と子孫繁栄を祈る—縄文時代の土偶と石棒—					
土偶	縄文時代中期後半か	1	柏原遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
土偶	縄文時代後期	1	鳥居遺跡	海南市	和歌山県教育委員会
遮光器土偶	縄文時代晩期	1	川辺遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
岩偶か	縄文時代後期	1	徳蔵地区遺跡	みなべ町	みなべ町教育委員会
石棒	縄文時代後期	1	丁ノ町・妙寺遺跡	かつらぎ町	かつらぎ町教育委員会
石棒	縄文時代晩期	1	西飯降遺跡	かつらぎ町	和歌山県教育委員会
石棒	縄文時代晩期	2	田井・西川遺跡	美浜町	和歌山県教育委員会
石棒	縄文時代晩期～ 弥生時代前期	2	徳蔵地区遺跡	みなべ町	みなべ町教育委員会
石棒	縄文時代か	1	柏原遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
石刀	縄文時代晩期	3	川辺遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
豊作を祈り収穫を祝う—弥生時代のまつり—					
石棒	弥生時代前期か	1	太田・黒田遺跡	和歌山市	当館
石棒	弥生時代前期	2	立野遺跡	すさみ町	和歌山県教育委員会
石剣	弥生時代前期	1	立野遺跡	すさみ町	和歌山県教育委員会
石棒	弥生時代中期	1	血縄遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
碧玉製管玉	弥生時代中期	1	血縄遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
石剣	弥生時代中期	2	柏原遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
楔形石器	弥生時代中期	1	柏原遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
碧玉製管玉	弥生時代中期	1	柏原遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
下の尾銅鐸	弥生時代中期	1	日高郡みなべ町晩稲	みなべ町	和歌山県教育委員会
山田代銅鐸（複製）	弥生時代後期	1	田辺市秋津町出土	田辺市	当館
銅鐸形土製品	弥生時代中期	2	岡村遺跡	海南市	和歌山県教育委員会
銅鐸形土製品	弥生時代中期	1	血縄遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
銅鐸形土製品	弥生時代中期～後期	1	西飯降Ⅱ遺跡	かつらぎ町	かつらぎ町教育委員会
鳥形土器	弥生時代中期	2	岡村遺跡	海南市	和歌山県教育委員会
鳥形木製品	弥生時代終末期	1	徳蔵地区遺跡	みなべ町	みなべ町教育委員会
鳥形木製品	弥生時代終末期～ 古墳時代初頭	1	岡村遺跡	海南市	和歌山県教育委員会
棒状木製品	弥生時代終末期	1	徳蔵地区遺跡	みなべ町	みなべ町教育委員会
絵画土器	弥生時代中期	4	西飯降Ⅱ遺跡	かつらぎ町	かつらぎ町教育委員会
絵画土器	弥生時代中期	3	太田・黒田遺跡	和歌山市	和歌山市
連続渦文土器	弥生時代後期	1	血縄遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
線刻土器	弥生時代後期	1	血縄遺跡	橋本市	橋本市教育委員会
供物を捧げ地域を治める—古墳時代のまつり—					
三角縁神獣鏡	古墳時代前期	2	—	—	当館
籠目土器	古墳時代初頭	2	井辺遺跡	和歌山市	和歌山市
土師器 壺	古墳時代初頭	3	井辺遺跡	和歌山市	和歌山市

資料名	時代	点数	遺跡名	所在	所蔵者
鳥形土器	古墳時代中期	2	大日山Ⅰ遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 器台・高坏・小型丸底壺	古墳時代前期後半～中期	3	大日山Ⅰ遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 ミニチュア土器	古墳時代中期	5	大日山Ⅰ遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
滑石製模造品	古墳時代中期	10	大日山Ⅰ遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土製円盤	古墳時代中期	1	大日山Ⅰ遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 長胴甕	古墳時代中期	1	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 甗	古墳時代中期	1	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器ミニチュア土器	古墳時代中期	9	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 高坏	古墳時代中期	1	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 壺	古墳時代中期	1	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 埴	古墳時代中期	1	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
須恵器 はそう	古墳時代中期	1	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
石製紡錘車	古墳時代中期	1	音浦遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
土師器 甗	古墳時代中期	1	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
製塩土器	古墳時代前期	3	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
製塩土器	古墳時代中期	1	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
土師器 高坏	古墳時代	1	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
須恵器 蓋坏	古墳時代中期～後期	5	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
須恵器 短頸壺	古墳時代後期	3	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
須恵器 はそう	古墳時代後期	1	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
棒状石製品	古墳時代か	1	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
滑石製模造品 剣形	古墳時代中期	1	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
滑石製模造品 白玉	古墳時代中期	2 連	坂田山遺跡	白浜町	白浜町教育委員会
子持ち勾玉	古墳時代後期	1	鳴滝 1 号墳	和歌山市	和歌山県教育委員会
子持ち勾玉	古墳時代後期	1	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
卜骨	古墳時代	6	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
鹿角製 儀杖頭	古墳時代中期～後期	2	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
鹿角製刀剣装具 把	古墳時代中期～後期	1	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
鹿角製刀剣装具 鞘口	古墳時代中期～後期	1	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
鹿角製 鳴鏑	古墳時代か	1	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
鹿角製 鏃装具	古墳時代中期	1	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
鹿角製 管状製品	古墳時代中期～後期	1	西庄遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
祇い清め国家安寧を祈るー飛鳥・奈良・平安時代のまつりー					
土馬	飛鳥～奈良時代初頭	3	根来寺遺跡	岩出市	和歌山県教育委員会
土馬	飛鳥～奈良時代前期	1	川辺遺跡	和歌山市	和歌山県教育委員会
人形祭祀具	平安時代	1	稲成Ⅰ遺跡	田辺市	和歌山県教育委員会
人形祭祀具、斎串	平安時代	8	野田地区遺跡	有田川町	有田川町教育委員会
馬形祭祀具	平安時代	1	野田地区遺跡	有田川町	有田川町教育委員会
刀形祭祀具	平安時代	1	野田地区遺跡	有田川町	有田川町教育委員会
墨書人面土器	平安時代	1	根来寺遺跡	岩出市	和歌山県教育委員会
位牌か	鎌倉時代末～室町時代	1	野田地区遺跡	有田川町	有田川町教育委員会
笹塔婆	鎌倉時代末～室町時代	26	野田地区遺跡	有田川町	有田川町教育委員会
黒色土器 埴	平安時代	2	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
瓦器 埴	鎌倉時代	1	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
緑釉陶器、土師器	平安時代	2	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
土師器 台付皿	平安時代か	2	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
土師器 皿	ー	5	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
須恵器 蓋坏	奈良時代～平安時代	2	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
瑞花鴛鴦鏡	鎌倉時代	1	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
鐸型銅器	鎌倉時代か	1	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
滑石製品	ー	1	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
円面硯	平安時代か	1	岸宮祭祀遺跡	紀の川市	紀の川市教育委員会
常滑焼甕	平安時代末	1	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
経筒	平安時代後期	1	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
銅鏡	平安時代後期	7	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
中国製青白磁小壺	平安時代後期	4	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
白磁皿	平安時代後期	1	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
火打鎌	平安時代後期	2	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
短刀	平安時代後期	2	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
銅銭【県指定文化財】	平安時代後期	6	隅田八幡経塚	橋本市	橋本市教育委員会
おわりに					
土師器皿	江戸時代	2	田辺城下町遺跡	田辺市	和歌山県教育委員会

③秋期特別展「海に挑み、海をひらく―きのくに七千年の文化交流史―」

期 間：令和3年10月2日（土）～12月5日（日）

会 期：56日【前年度56日間】

内 容：和歌山県と三重県南部が位置する紀伊半島の沿岸は、紀伊水道と熊野灘に臨み、多様な海岸地形や美しい自然景観が広がる。そこでは黒潮の恵みにより、縄文時代より近代に至るまで漁労や製塩などを主要な生業とする暮らしが営まれてきた。現在、紀伊半島の各地でみることができる特色ある歴史的風土は、各時代の海の民による暮らしや生業の歴史が重なり合い形成された側面をもつと考えられる。またこの地域では、「海の道」を通じて日本列島各地との交流が行われ、その歴史は約7,000年前の縄文時代にまでさかのぼる。古墳時代には、首長や海の民が隣接地域のみならず九州から関東の各地と活発な交流を行い、さらに海を越えて朝鮮半島からもたらされた渡来文化を受容したことが遺跡の出土品や古墳から明らかにされている。また中世末から近世には、紀州漁民が「旅網」と称してイワシ網漁・カツオ漁・捕鯨など獲物を求めて移動しながら漁業を行い、日本各地に漁場を開き、先進的な漁の技術を伝えた足跡が各地に残されている。さらに、紀州商人は廻船により紀州の産物である醤油や漆器、ミカンなどを各地に輸送し、海を介して交易を行った。本展では、紀伊半島の沿岸に暮らしした先人たちが、海とともに生き、恵みや富を得るため海をひらき「海の道」を往来した歴史を、考古資料と民俗資料を中心とする県内外の文化財を中心に展示し、紀伊半島の海の民が活躍した約7000年の文化交流史を紹介した。

入館者数：3,947人【前年4,348人】 内有料入館者数：629人【前年613人】

資料名	所在	遺跡名	点数	所蔵	年代
第1章 海の道の記憶					
ツノガイ製小玉	田辺市	高山寺貝塚	9	田辺市教育委員会	縄文時代早期
イモガイ加工品	田辺市	高山寺貝塚	2	高山寺	縄文時代早期
イモガイ	田辺市	高山寺貝塚	1	高山寺	縄文時代早期
ヤカドツノガイ	田辺市	高山寺貝塚	1	高山寺	縄文時代早期
押出型石匙	御坊市	天田橋南出土	1	御坊市教育委員会	縄文時代前期
縄文土器 深鉢	みなべ町	徳蔵地区遺跡	8	みなべ町教育委員会	縄文時代中期
縄文土器 深鉢	串本町	大水崎遺跡	7	串本町教育委員会	縄文時代中期
縄文土器 深鉢	三重県熊野市	新鹿出土	2	熊野市立歴史民俗資料館	縄文時代早期
縄文土器 深鉢	三重県熊野市	釜ノ平遺跡	2	熊野市立歴史民俗資料館	縄文時代中期
縄文土器 深鉢	三重県尾鷲市	曾根遺跡	1	尾鷲市教育委員会	縄文時代早期
縄文土器 深鉢	三重県尾鷲市	曾根遺跡	5	尾鷲市教育委員会	縄文時代中期
縄文土器 深鉢	三重県南伊勢町	神前浦長浜遺跡	2	南伊勢町教育委員会	縄文時代前期
縄文土器 深鉢	三重県南伊勢町	アララ遺跡	1	南伊勢町教育委員会	縄文時代中期
縄文土器 深鉢・浅鉢	みなべ町	徳蔵地区遺跡	4	みなべ町教育委員会	縄文時代晩期末
縄文土器 深鉢・浅鉢	三重県鳥羽市	白浜遺跡	4	鳥羽市立海の博物館	縄文時代晩期末
弥生土器 甕	三重県鳥羽市	白浜遺跡	3	鳥羽市立海の博物館	弥生時代前期
弥生土器 壺・甕	御坊市	堅田遺跡	5	御坊市教育委員会	弥生時代前期
弥生土器 細頸壺	みなべ町	高見遺跡	1	みなべ町教育委員会	弥生時代中期
弥生土器 壺	田辺市	八丁田圃遺跡	4	田辺市教育委員会	弥生時代中期
弥生土器 壺・甕	白浜町	大古Ⅱ遺跡	12	白浜町教育委員会	弥生時代中期
弥生土器 壺・甕	新宮市	八反田遺跡	6	新宮市教育委員会	弥生時代中期
弥生土器 無頸壺、水差	三重県南伊勢町	アララ遺跡	2	南伊勢町教育委員会	弥生時代中期
弥生土器 壺・甕・鉢	三重県南伊勢町	賛遺跡	9	南伊勢町教育委員会	弥生時代中期
弥生土器 細頸壺	三重県鳥羽市	白浜遺跡	1	鳥羽市立海の博物館	弥生時代中期
土師器 壺	串本町	笠嶋遺跡	2	串本町教育委員会	弥生時代終末期
弥生土器 壺、土師器甕	三重県紀北町	大白海岸出土	8	紀北町教育委員会	弥生時代後期～古墳時代初頭
製塩土器、土師器皿、黒色土器皿、緑釉陶器椀、灰釉陶器二耳壺	田辺市	北沖代遺跡	14	田辺市教育委員会	平安時代
常滑焼甕、中国産陶器	和歌山市	加太遺跡	5	和歌山市	室町時代

資料名	所在	遺跡名	点数	所蔵	年代
山茶碗 椀、常滑焼 甕	三重県紀北町	豊浦神社遺跡	2	紀北町教育委員会	鎌倉～室町時代
家型、蓋、有蓋脚付短頸壺	和歌山市	大同寺遺跡	3	東京国立博物館	古墳時代中期
馬冑（複製品）	和歌山市	大谷古墳	1	和歌山市	古墳時代中期
古墳から出土した馬歯	和歌山市	鳴神Ⅴ遺跡	1	和歌山市	古墳時代中期
須恵器 高杯形器台	和歌山市	楠見遺跡	1	和歌山市	古墳時代中期
須恵器 器台の脚部	和歌山市	平井Ⅱ遺跡	1	和歌山市	古墳時代中期
須恵器 大甕	和歌山市	鳴滝遺跡	1	和歌山市	古墳時代
韓式系土器 鍋・甑・長胴甕	和歌山市	鳴神地区遺跡	3	和歌山市	古墳時代中期
玉類、土師器	那智勝浦町	下里古墳	8	那智勝浦町教育委員会	古墳時代前期
銅鏡（倣製五神鏡）	御坊市	尾ノ崎遺跡 方形周溝墓3号	1	御坊市教育委員会	古墳時代前期
銅鏡（倣製珠文鏡）、碧玉製勾玉・管玉、ガラス製小玉	御坊市	尾ノ崎遺跡 方形周溝墓15号	2	御坊市教育委員会	古墳時代前期
鉄斧	御坊市	尾ノ崎遺跡 方形周溝墓12号	1	御坊市教育委員会	古墳時代前期
石枕、爬龍文鏡、土師器 埴・高杯	有田市	椒古墳	8	東京国立博物館	古墳時代中期
埴製枕（衝立部）、珠文鏡、方格T字鏡、鉄鉢、鉄斧	三重県志摩市	おじょか古墳	9	志摩市教育委員会	古墳時代中期
刀剣装具（複製品）	田辺市	磯間岩陰遺跡	7	田辺市教育委員会	古墳時代中期
鹿角製複合釣針（複製品）	田辺市	磯間岩陰遺跡	1	田辺市教育委員会	古墳時代中期
須恵器、鉄剣、鉄族、弓弭	白浜町	脇の谷古墳	21	白浜町教育委員会	古墳時代中期
装飾付壺	湯浅町	天神山古墳	1	東京国立博物館	古墳時代後期
須恵器	和歌山市	西庄遺跡3号墳	2	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
棒状石製品	和歌山市	西庄遺跡3号墳	1	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
製塩土器、釣針、須恵器、土師器、玉類、棒状石製品、鉄鏃、耳環	和歌山市	西庄遺跡4号墳	17	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
製塩土器、須恵器、刀子、鉄鏃、製塩土器、碧玉製管玉・瑪瑙製切小玉・水晶製切小玉・ガラス製小玉	御坊市	中村1号墳	13	御坊市教育委員会	古墳時代後期
製塩土器、須恵器、刀子、鉄鏃、鉄刀、耳環、青銅製空玉	御坊市	秋葉山1号墳	18	御坊市教育委員会	古墳時代後期
須恵器 蓋杯・高杯、鉄鏃、刀子、玉類、耳環、釣針	白浜町	オリフ古墳	17	白浜町教育委員会	古墳時代後期
須恵器 器台、高杯	三重県紀北町	横城古墳	2	紀北町教育委員会	古墳時代後期
双龍環頭、環頭太刀、鉄刀、銅椀、鉄鏃、刀子、釣針、耳環	三重県南伊勢町	宮山古墳	16	南伊勢町教育委員会	古墳時代後期
須恵器、板状金銅製品、銅椀蓋、鈴、銀装鉄釘、鉄釘、玉類	三重県志摩市	塚穴古墳	24	志摩市教育委員会	古墳時代後期
須恵器 台付短頸壺	三重県鳥羽市	大吉北古墳	1	鳥羽市立海の博物館	古墳時代中期
形象埴輪	和歌山市	岩橋千塚古墳群 大日山35号墳	7	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
ガラス製小玉・粟玉・メノウ製切子玉	和歌山市	岩橋千塚古墳群 天王塚古墳	一連	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
トンボ玉・ガラス製小玉・水晶製切子玉・碧玉製管玉	和歌山市	岩橋千塚古墳群 山東22号墳	一連	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
須恵器 蓋杯・壺・短頸壺	和歌山市	岩橋千塚古墳群 大日山70号墳	3	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
陶質土器	和歌山市	岩橋千塚古墳群 大日山70号墳	1	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
鉄刀、鉄鏃、鉄斧、鍛冶具（鉄鉗・鉄槌・鑿）	和歌山市	岩橋千塚古墳群 大日山70号墳	7	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
陶質土器 壺	和歌山市	伝岩橋千塚古墳群 花山地区出土	1	和歌山県教育委員会	古墳時代前期
陶質土器 有蓋高杯	和歌山市	伝岩橋千塚古墳群 花山地区出土	2	和歌山県教育委員会	古墳時代中期
陶質土器 有蓋高杯	和歌山市	岩橋千塚古墳群 前山A46号墳	5	和歌山市	古墳時代後期

資料名	所在	遺跡名	点数	所蔵	年代
装飾付壺	和歌山市	伝岩橋千塚古墳群 花山地区出土	1	当館蔵	古墳時代後期
陶器、磁器	白浜町	安宅本城跡	12	白浜町教育委員会	中世
陶器、磁器	新宮市	新宮城下町遺跡	10	新宮市教育委員会	中世
第2章 海とともに、生きる					
タイ用釣具、釣針	和歌山市		6	和歌山市立博物館	昭和時代
ガシラ（カサゴ）用釣具	和歌山市		1	和歌山市立博物館	昭和時代
サゴシ（サワラ）用釣具	和歌山市		1	和歌山市立博物館	昭和時代
クエ用釣針	和歌山市		1	和歌山市立博物館	昭和時代
カマ（ワカメ漁）	和歌山市加太		1	個人蔵	平成時代
箱眼鏡（ワカメ漁）	和歌山市加太		1	個人蔵	昭和～平成
エサ箱（タイ釣り）	和歌山市加太		1	個人蔵	昭和時代
タコツボ	和歌山市加太		1	個人蔵	昭和時代
弥生土器 壺・須恵器 杯身・ 提瓶、黒色土器、瓦器、瓦 質土器	和歌山市	加太遺跡	15	和歌山市	弥生時代
石錘、棒状土錘	和歌山市	加太遺跡	6	和歌山市	弥生時代～古代
韓式系土器 鉢	和歌山市	加太遺跡	4	和歌山市	古墳時代
軒丸瓦	和歌山市	加太北方遺跡	2	和歌山市	鎌倉時代
軒丸瓦	和歌山市	加太南遺跡	1	和歌山市	鎌倉時代
銅鏃	和歌山市	大谷川遺跡	2	和歌山市	弥生時代終末期
弥生土器	和歌山市	藻崎遺跡	4	和歌山市	弥生時代～古代
土師器 壺・甕・高杯	和歌山市	藻崎遺跡	4	和歌山市	古代
須恵器 蓋杯、土師器 甕・鍋、 製塩土器、子持勾玉、紡錘車、 棒状土錘	和歌山市	西庄遺跡 5号竪穴 建物	一式	和歌山県教育委員会	古墳時代後期
管状土錘、鉄艇、鉄鎌	和歌山市	西庄遺跡	3	和歌山県教育委員会	古墳時代中期後期
チゲ・釣具一式	和歌山市雑賀崎		1	個人蔵	昭和時代
イカ用釣具	和歌山市雑賀崎		4	個人蔵	昭和時代
サワラ用釣具	和歌山市雑賀崎		1	個人蔵	昭和時代
ヘラ状骨器、ヤス状刺突具、 鹿角製根挟み、貝類、魚骨	和歌山市	鳴神貝塚	8	和歌山県教育委員会	縄文時代
縄文土器 深鉢、石鏃、石匙、 削器、石錘、イノシシ牙製ナイフ、 骨針、筭、貝類	和歌山市	禰宜貝塚	25	和歌山市	縄文時代前期～中期
箱眼鏡	海南市下津町		1	海南市教育委員会	昭和時代
ヒシ、タコ用釣具、イカ用釣具、 打瀬網用のイワ、アバ	海南市下津町大崎		13	海南市教育委員会	昭和時代
石錘、石イカリ、ビク籠、 シラス籠、魚籠	海南市下津町		7	海南市教育委員会	昭和時代
ロクロ、樽浮子、シト（浮子）	海南市下津町		3	当館蔵	昭和時代
タモ	海南市下津町塩津		1	当館蔵	昭和時代
ハエナワ	海南市下津町		1	当館蔵	昭和時代
ハモ籠	海南市下津町		1	当館蔵	昭和時代
棒状土錘、管状土錘、有溝 土錘、縄文土器	広川町	鷹島遺跡	24	和歌山県教育委員会	古墳時代～古代
エビ刺網	由良町網代		1	由良町教育委員会	昭和時代
籠（エビ入れ）	由良町畑		1	由良町教育委員会	昭和時代
道具箱（釣具一式）	由良町阿戸		1	由良町教育委員会	昭和時代
沖箱（釣具一式）	由良町阿戸		1	由良町教育委員会	昭和時代
ビク	由良町		1	由良町教育委員会	昭和時代
タコツボ	由良町網代		3	由良町教育委員会	昭和時代
土錘	由良町	大引遺跡、三宅谷 遺跡、衣奈遺跡、 黒島遺跡	16	由良町教育委員会	古墳時代～古代
日高地域の地曳網漁用具及 び船タイマツ	日高町産湯		1	当館蔵	昭和時代
石錘、エビ刺網	日高町阿尾		3	日高町教育委員会	昭和時代
釣具箱（釣具一式）、ハエナ ワ、イカ用釣具、アバリ入 れ（網針）	御坊市		4	御坊市教育委員会	昭和時代
ワカメ竿、鎌、モリ（二本 ビシ）	御坊市		4	御坊市教育委員会	昭和時代
カケソ、イカ釣用疑似餌	印南町		5	印南町教育委員会	昭和時代

資料名	所在	遺跡名	点数	所蔵	年代
弥生土器 壺・甕、鉢、石 鏃、打製石剣、小形片刃石 斧、大形磨製石斧、磨製石 包丁、多頭環状石斧、石棒、 不明石製品、石錐、広鋏未 成品、竪杵	御坊市	堅田遺跡	24	御坊市教育委員会	弥生時代前期
弥生土器 壺・甕、浮線文 土器 鉢、突帯文土器 深鉢、 石棒、台石、打製石斧、敲石、 木製品 広鋏、石鏃、石錐、 剥片、太形蛤刃石斧、扁平片 刃石斧、石包丁、直縁刃石 器	みなべ町	徳蔵地区遺跡	39	みなべ町教育委員会	弥生時代前期
イカ用釣具、チゲ（釣具一 式）、一本釣用疑似餌、サワ ラ用釣具、潜行板	田辺市江川		13	個人蔵	昭和 20 年代
縄文土器、トロトロ石器、石鏃、 石錐、敲石、磨製石斧、局部 磨製石斧、ヒメアカガイ	田辺市	高山寺貝塚	15	田辺市教育委員会	縄文時代早期
ハイガイ、サルボウ	田辺市	高山寺貝塚	10	高山寺	縄文時代早期
アワビ製貝包丁	田辺市	岩屋谷岩陰遺跡	1	田辺市教育委員会	弥生時代後期
管状土錘・有溝土錘・棒状 土錘	田辺市	立戸遺跡	10	田辺市教育委員会	古代～中世
製塩土器、鉄製鋸、鹿角製 刀子、鉄製品の刺さったウミ ガメの骨	田辺市	古目良岩陰遺跡	5	田辺市教育委員会	古墳時代中期
マグロ用釣針	白浜町		2	白浜町教育委員会	昭和時代
曳縄釣具（サワラ用か）、釣 具、釣針（タチウオ用か）、 潜行板、イワ	白浜町		10	白浜町教育委員会	昭和～平成時代
骨鏃・回転式離頭鋸・鹿角 製釣針	白浜町	貝殻畠貝塚	3	高山寺	古墳時代中期
瓦器・黒色土器・製塩土器 有溝管状土錘・有溝土錘・ 管状土錘	白浜町	横浦岩陰遺跡	10	白浜町教育委員会	古代～中世
須恵器 蓋杯・短頸壺・製塩 土器・紡錘車	白浜町	綱不知岩陰遺跡	8	白浜町教育委員会	古墳時代前期・後期
土師器 甗・須恵器 蓋杯・ 製塩土器・土錘	白浜町	坂田山遺跡	14	白浜町教育委員会	古墳時代前期～後期
滑石製白玉・剣形石製品	白浜町	坂田山遺跡	2	白浜町教育委員会	古墳時代中期
滑石製紡錘車	白浜町	坂田山遺跡	1	高山寺	古墳時代中期
ウツボカゴ	すさみ町		1	すさみ町教育委員会	昭和時代
ハラダル、カイノミ、スカ リ、ポツリ	串本町		7	串本町教育委員会	昭和時代
石錘	串本町	大水崎遺跡	8	和歌山県教育委員会	縄文時代
石包丁	串本町	スガの谷遺跡	1	串本町教育委員会	弥生時代
棒状土錘 浮子 木錘 有 溝土錘、舟形木製品、ウミ ガメ上腕骨 サザエ蓋 サメ 類椎骨、笠嶋遺跡出土品	串本町	笠嶋遺跡	22	串本町教育委員会	弥生時代終末期・古 代
祭祀具 滑石製模造品	串本町	向井屋敷遺跡	2	串本町教育委員会	弥生時代終末期
スパイキ	新宮市三輪崎		3	個人蔵	現代
擬餌針、タル（潜水漁用の 樽）、サメ・マグロ用鋸、チ ゲ（釣道具箱）とワッパ	新宮市三輪崎		10	三輪崎小学校	昭和時代
管状土錘、有溝土錘、弥生 土器 壺・甕・高杯・鉢・鍋、 須恵器、土師器、土製玉類	新宮市	阿須賀神社遺跡	23	新宮市教育委員会	弥生時代終末期 ～古代
一本釣擬餌針、一本釣擬餌 針（サワラ用）、ハイカラ（潜 航板）	三重県熊野市		26	熊野市歴史民俗資料館	昭和時代
鬼ヶ城リール	三重県熊野市井戸町		2	熊野市歴史民俗資料館	昭和 20 年代頃
弥生土器 壺・甕	三重県熊野市	津ノ森遺跡	4	熊野市歴史民俗資料館	弥生時代中期
不明石製品（銅鐸形石製品 か）、台付甕、祭祀具（滑石 製模造品）	三重県熊野市	津ノ森遺跡	4	熊野市歴史民俗資料館	弥生時代中期～古墳 時代中期

資料名	所在	遺跡名	点数	所蔵	年代
タジを担ぐ棒	三重県尾鷲市曾根町		2	尾鷲市教育委員会	昭和時代
ヤママキ（仕掛け巻き）、チゲ（釣道具箱）	三重県尾鷲市曾根町		一式	尾鷲市曾根区	昭和時代
曾根遺跡出土の石器、縄文土器 深鉢	三重県尾鷲市	曾根遺跡	17	尾鷲市曾根区	縄文時代
チゲ（釣道具箱）	三重県紀北町		一式	紀北町教育委員会	昭和 20 年代～
網針入れと網針	三重県紀北町		一式	紀北町教育委員会	昭和時代
イカ釣用疑似餌	三重県紀北町		6	紀北町教育委員会	昭和時代
一本釣擬餌針	三重県紀北町		一式	紀北町教育委員会	昭和時代
メノウ製勾玉	三重県紀北町	矢口浦網代出土	1	紀北町教育委員会	古墳時代
サメ・マグロ用鉾	三重県紀北町		2	紀北町教育委員会	昭和時代
チゲ（釣道具箱）、ヒシ	三重県紀北町		一式	紀北町教育委員会	昭和 10 年代～
イカ釣用疑似餌	三重県紀北町		3	紀北町教育委員会	昭和時代
イカ釣用具	三重県紀北町		1	紀北町教育委員会	昭和時代
土錘	三重県紀北町	海野遺跡	18	紀北町教育委員会	古代
明治 13 年鮪大漁水揚げ関係資料	三重県南伊勢町		3	南伊勢町教育委員会	明治時代
慶応三年 鮪大漁水揚げ諸人用勘定控	三重県南伊勢町		1	南伊勢町教育委員会	江戸時代
ビシとマガイ、タイ用釣針、擬餌針	三重県南伊勢町		10	南伊勢町教育委員会	昭和時代
土師器 甕	三重県南伊勢町	奈屋浦長浜遺跡	2	南伊勢町教育委員会	奈良時代・古墳時代中期
ノゾキ（磯かがみ）	三重県南伊勢町		1	南伊勢町教育委員会	昭和時代
イセエビ用俵	三重県南伊勢町		1	南伊勢町教育委員会	昭和時代
七本ビシ、三本ビシ	三重県鳥羽市相差 志摩市阿児町神明		2	志摩市教育委員会	昭和時代
サザエ突きの先、ハコビシの先	三重県鳥羽市菅島 町南伊勢町宿浦		2	志摩市教育委員会	昭和時代
磯眼鏡、二つ眼鏡	志摩半島三重県志摩市大王町船越		2	志摩市教育委員会	昭和時代
ワカメ巻き	三重県鳥羽市菅島町		1	志摩市教育委員会	昭和時代
ナガノミ、カギノミ、コノミ	三重県志摩市志摩町和具、志摩市阿児町志島、志摩市志摩町和具、鳥羽市相差		6	志摩市教育委員会	昭和時代
ツノ、ギジ	三重県大王町		2	志摩市教育委員会	昭和時代
固定式鉾	三重県志摩市	塚越貝塚	2	志摩市教育委員会	弥生時代
鹿角未製品、鹿角製刀剣装具 鞘尻、鹿角製刀子柄、鹿角製未製品、韓式系土器	三重県志摩市	塚越貝塚	1	志摩市教育委員会	古墳時代
鹿角製釣針	三重県鳥羽市	白浜遺跡	2	鳥羽市立海の博物館	弥生時代中期
骨角器、アワビオコシ、ト骨、釣針回転式離頭鉾、骨鏃、ヤス、鉾	三重県鳥羽市	白浜遺跡	14	鳥羽市立海の博物館	弥生～古墳時代
鹿角製結合式釣針 軸部	三重県鳥羽市	白浜遺跡	1	鳥羽市立海の博物館	古墳時代
小銅鐸、銅鏃	三重県鳥羽市	白浜遺跡	5	鳥羽市立海の博物館	弥生時代終末期
弥生土器 壺	三重県鳥羽市	白浜遺跡	3	鳥羽市立海の博物館	弥生時代中期
S 字状口縁台付甕、高坏	三重県鳥羽市	白浜遺跡	2	鳥羽市立海の博物館	弥生時代終末期
製塩土器	和歌山市	藻崎遺跡	10	和歌山市	古墳時代前期・奈良時代
製塩土器	和歌山市	加太遺跡	7	和歌山市	古墳時代前期
製塩土器	和歌山市	西庄遺跡	10	和歌山県教育委員会	古墳時代前期～奈良時代
製塩土器	海南市	下遺跡	2	海南市教育委員会	平安時代
製塩土器	有田市	地ノ島遺跡	5	和歌山県教育委員会	古墳時代中期
製塩土器	由良町	阿戸遺跡・大引遺跡三宅谷遺跡	12	由良町教育委員会	弥生時代終末期～古墳時代中期
製塩土器	御坊市	尾ノ崎遺跡	5	御坊市教育委員会	古墳時代前期・中期
製塩土器	みなべ町	大目津泊遺跡	6	和歌山県教育委員会	古墳時代前期
製塩土器	田辺市	古目良遺跡	10	高山寺、田辺市教育委員会	古墳時代前期

資料名	所在	遺跡名	点数	所蔵	年代
製塩土器	田辺市	立戸遺跡	1 2	田辺市教育委員会	古墳時代中期
塩浜ゴカキ、塩浜鍬	白浜町細野		1	白浜町教育委員会	昭和 10 年代頃
製塩土器 知多式	三重県鳥羽市	白浜遺跡	3	鳥羽市立海の博物館	古墳時代後期
第 3 章 「旅網」の時代―海を旅する紀州の漁師―					
広浦往古ヨリ成行之覚	広川町		1	広八幡宮	寛政 6 年（1794）
関東鰯網来由記	千葉県船橋市		1	船橋市西図書館	明和 8 年（1771）
紀州漁業絵巻（網漁）	和歌山市		2	和歌山県立図書館	明治 20 年代
日高地域の地曳網漁用具	日高町産湯		一式	当館蔵	昭和時代
紀伊国名所図会 後編 巻三	和歌山市		1	和歌山県立博物館	江戸時代
網桶・麻糸	三重県南伊勢町		一式	南伊勢町教育委員会	昭和時代
緒巻き	三重県紀北町		4	紀北町教育委員会	昭和時代
アバリ箱・アバリ	由良町大引		6	由良町教育委員会	昭和時代
アバリ・糸巻き	海南市下津町		7	海南市教育委員会	昭和時代
シュロ製網地	三重県南伊勢町		1	南伊勢町教育委員会	昭和時代
ケンチ升	由良町網代		1	由良町教育委員会	昭和時代
製網販路要覧	湯浅町湯浅		1	湯浅町教育委員会	明治 37 年（1904）
ビク籠	海南市下津町		1	海南市教育委員会	昭和時代
大漁旗（睨み鯛）	由良町		1	由良町教育委員会	大正～昭和初期
祭礼幟「萬歳」	由良町衣奈		1	由良町教育委員会	昭和時代
祭礼幟「鰻大漁」	由良町大引		1	由良町教育委員会	昭和時代
紀伊国名所図会 巻五	和歌山市		1	和歌山県立博物館	江戸時代
崎山治郎右衛門夫妻木像	千葉県銚子市		2	個人蔵	江戸時代 18 世紀
外川由来記	千葉県銚子市		1	個人蔵	正徳 6 年（1716）
高神村内外川浦長崎浦犬若浦八手網船印	千葉県銚子市		1	個人蔵	享保 17 年（1732）
網方船印覚	広川町		1	広八幡宮	宝暦 10 年（1760）
マイワイ	千葉県銚子市		1	個人蔵	昭和時代
房総半島の漁撈用具 ヤロウイソガネ、イソガネ	千葉県南房総市白浜町青木		2	館山市立博物館	昭和時代
房総半島の漁撈用具 コノミ	千葉県南房総市白浜町滝口		1	館山市立博物館	昭和時代
房 総 半 島 の 漁 撈 用 具 ウケダル・ツイシ・タマリ、 ヤマ（昼用）、カッチャグリ、 イナダ・ワラサの曳釣り	千葉県館山市白間津		6	館山市立博物館	昭和時代
銚子木国会史、主意書	千葉県銚子市		2	銚子木国会	昭和 11 年（1936）、 昭和時代
八幡宮新記録	広川町		1	広八幡宮	江戸時代後期
ながしつり津里多免生写乃図	千葉県館山市		1	館山市立博物館	文化 6 年（1809）
ドンザ	すさみ町		1	すさみ町立歴史民俗資料館	昭和時代
かつお節包丁（頭切り、身割り、おろし）	印南町		4	印南町教育委員会	昭和時代
かつお節包丁（頭切り、おろし、背突き）、かつお節割り刀	三重県紀北町		10	紀北町教育委員会	昭和時代
煮籠	印南町		1	印南町教育委員会	昭和時代
かつお節割り	串本町		1	串本町教育委員会	昭和時代
ケンケン釣針、潜航板、曳縄釣りのしかけ	すさみ町		3	すさみ町立エビとカニの水族館	平成時代
曳縄釣り漁船の模型	すさみ町		1	和歌山南漁業協同組合	平成時代
カツオ釣針	串本町		10	串本町教育委員会	平成時代
カツオ釣竿	新宮市三輪崎		1	三輪崎漁業協同組合	平成時代
船玉様	白浜町		2	白浜町教育委員会	昭和時代
船玉酒樽	すさみ町		1	すさみ町立歴史民俗資料館	昭和時代
第 4 章 海に向かって富を求めて					
弁才船（模型）	和歌山市		1	当館蔵	江戸～明治時代
周参見王子神社奉納絵馬 春日丸、住吉丸	すさみ町周参見		1	周参見王子神社	弘化 4 年（1847） 文久 3 年（1863）
紀伊国名所図会 巻一、巻二	和歌山市		1	和歌山県立博物館	江戸時代
取込み籠、明石籠テボ、タテ、オウコ	有田市		6	有田市郷土資料館	明治時代～昭和時代
ため桶、手だめ桶、もり升、さし桶、じょうご、四斗樽、一斗樽、三升樽、味噌桶	湯浅町湯浅		9	湯浅町教育委員会	昭和時代

資料名	所在	遺跡名	点数	所蔵	年代
湯浅湊図屏風	湯浅町湯浅		1	湯浅町教育委員会	明治時代
船簞笥、紀州藩陶器方鑑札、 煙草入れ、往来一札之事、 伊万里焼の梱包、伊万里焼 染付燈籠	有田市箕島		8	個人蔵	江戸時代～明治時代
八十椀（柳川家旧蔵資料）	海南市黒江		3	当館蔵	江戸～明治時代
木具膳（柳川家旧蔵資料）	海南市黒江		1	当館蔵	明治時代
伊万里焼 八角なます皿、 なます皿、猪口（柳川家旧 蔵資料）	海南市黒江		15	当館蔵	江戸時代、天明8年 (1789)
第5章 鯨とともに生きる					
紀州太地浦鯨大漁之図・鯨 全体之図	太地町太地		1	太地町立くじらの博物館	文久元年（1861）
有田鯨方勸進札	串本町有田		1	有田神社	正保2年（1645）
紀州熊野浦捕鯨図屏風	和歌山市		1	和歌山県立博物館	19世紀
太地浦鯨舟絵図	太地町太地		1	太地町立くじらの博物館	19世紀
勢子五番舟棚板	太地町太地		1	太地町立くじらの博物館	19世紀
古座浦捕鯨絵図	太地町太地		1	太地町立くじらの博物館	19世紀
古座浦捕鯨絵図	串本町古座		1	串本町教育委員会	19世紀
太地組勢子一番舟（1/4 模型）	太地町太地		1	熊野灘捕鯨文化継承協議会	平成31年（2019）
太地三輪崎鯨方捕鯨図	和歌山市		1	和歌山市立博物館	江戸時代～近代
紀州漁業絵巻（捕鯨図）	和歌山市		1	和歌山県立図書館	明治中期
伊勢湾・志摩半島・熊野灘 の漁撈用具 ハヤモリ	湯浅町湯浅（伝）		1	鳥羽市立海の博物館	江戸時代
伊勢湾・志摩半島・熊野灘 の漁撈用具 ハヤモリ	三重県紀北町白浦		2	鳥羽市立海の博物館	江戸時代
ヨロズモリ	新宮市三輪崎		2	新宮市立三輪崎小学校	江戸時代～近代
剣	新宮市三輪崎		1	新宮市歴史民俗資料館	江戸時代～近代
離頭銛の先（サメ用）	新宮市三輪崎		1	新宮市歴史民俗資料館	明治時代
モリザオ	三重県熊野市古泊		1	熊野市歴史民俗資料館	明治時代
中型モリ	三重県紀北町島勝浦		2	紀北町教育委員会	江戸時代
角モリ、剣	三重県紀北町白浦		2	紀北町教育委員会	江戸時代
近代式捕鯨モリ	三重県熊野市古泊		1	熊野市歴史民俗資料館	明治時代
長柄刀、長柄包丁（カイク）	三重県熊野市古泊		1	熊野市歴史民俗資料館	江戸時代～近代
長柄包丁（刃先）	三重県紀北町白浦		1	紀北町教育委員会	江戸時代
腰刀	串本町古座		1	串本町教育委員会	江戸時代～近代
両手包丁、長柄包丁、包丁、 マンリキ	串本町大島		7	串本町教育委員会	近代
くじらヒゲ	新宮市三輪崎		1	新宮市立三輪崎小学校	近代
捕鯨一件	和歌山市		1	和歌山市立博物館	明治24年～30年
三輪崎捕鯨取扱所看板	新宮市三輪崎		1	新宮市歴史民俗資料館	明治時代
『熊野太地浦捕鯨史』草稿	太地町太地		1	太地町立くじらの博物館	昭和41年（1966）
『熊野太地浦捕鯨史』刊本	和歌山市		1	当館蔵	昭和44年（1969）
クジラにまつわる郷土玩具	和歌山市		10	当館蔵	昭和時代
指上申五嶋行鯨突候羽指共 之口書	那智勝浦町天満		1	那智勝浦町教育委員会	寛文元年（1661）
見聞集 第45巻	長崎県大村市		1	大村市歴史資料館	文政11年（1828）
御評定所対決仕御順道相済 申帳	長崎県長崎市		1	長崎歴史文化博物館	貞享5年（1688）
五島に於ける捕鯨沿革図説	長崎県長崎市		3	長崎歴史文化博物館	天保5年（1831）
ハヤモリ、ヨロズモリ、手 形庖丁	長崎県平戸市生月 町		3	平戸市生月町博物館 島の 館	江戸～近代
河内祭の御舟幕（上組）	串本町古座		4	古座川河内祭保存会	平成時代
河内祭の御舟幟（上組）	串本町古座		1	古座川河内祭保存会	平成時代
河内祭の御舟傘提灯（上組）	串本町古座		1	古座川河内祭保存会	平成時代
河内祭の御舟矛（上組）	串本町古座		1	古座川河内祭保存会	平成時代
太地組の祝い大盃	太地町太地		1	太地町立くじらの博物館	江戸～近代
三輪崎の鯨踊り 綾棒、扇 子、衣装	新宮市三輪崎		一式	三輪崎郷土芸能保存会	平成時代
エピソード					
アメリカ移民のトランク、 アルバム	和歌山市		2	個人蔵	昭和初期
潜水服 釜	すさみ町		1	すさみ町立歴史民俗資料館	昭和時代

④冬期企画展「紀北の古墳群 / 紀中・紀南の単独墳 箱式石棺からみた紀伊の古墳」

期 間：令和4年1月15日（土）～2月27日（日）

会 期：38日間【前年度38日間】

内 容：古墳という墓が多く作られた古墳時代、当時は現在よりも墓へのこだわりが認められた。その中で紀伊では、“箱式石棺”と呼ばれる板石を組み合わせ箱形に作った棺が古墳時代を通じて使われた。箱式石棺は棺を地面に直接埋めたものであるため、横穴式石室のように盗掘されることなく、葬られた当時の姿で発見される。このため、葬られた遺骸や中に供えられた物の配置がわかる。

また、木を組み合わせる木棺は木材が土の中で腐朽するが、石棺の石は残ることから棺の構造がよくわかる。今回の企画展ではこの箱式石棺に葬られた人々がどのような人物であったのか、岩橋千塚古墳群をはじめとした紀北の古墳群と、紀南・紀中に築かれた単独墳との比較を行った。

入館者数：776人【前年713人】 内有料入館者数：280人【前年261人】

資料名	遺跡名		時期	員数	所蔵
第1章 箱式石棺とは					
湯浅天神山古墳箱式石棺	湯浅天神山古墳	湯浅町	古墳時代後期	1	湯浅町教育委員会
大谷山39号墳箱式石棺	大谷山39号墳	和歌山市	古墳時代中期	1	当館
薬勝寺南山1号墳箱式石棺	薬勝寺南山1号墳	和歌山市	古墳時代後期	1	当館
第2章 紀北の古墳群－箱式石棺に葬られた人々－					
人骨	天神山2号墳	和歌山市	古墳時代	1	和歌山県教育委員会
鉄剣	井辺前山37号墳	和歌山市	古墳時代中期	1	和歌山市
鉄鎌・鉄斧・鉄鉈（ミニチュア）・赤色顔料サンプル	大谷山39号墳（箱式石棺）	和歌山市	古墳時代中期	6	和歌山県教育委員会
鉄斧・鉄鉈・鉄刀	大谷山39号墳（粘土槨）	和歌山市	古墳時代中期	3	和歌山県教育委員会
須恵器壺・須恵器坏蓋・土師器埴輪	大谷山6号墳	和歌山市	古墳時代後期	3	和歌山県教育委員会
須恵器高坏	寺内22号墳（縦穴式石槨）	和歌山市	古墳時代中期	1	和歌山県教育委員会
須恵器坏蓋・坏身・はそう・土師器壺	大谷山28号墳	和歌山市	古墳時代中期	5	和歌山県教育委員会
須恵器甕	前山A17号墳か（表採資料）	和歌山市	古墳時代中期	1	和歌山県教育委員会
須恵器甕・壺	前山A100号墳か（表採資料）	和歌山市	古墳時代中期	2	和歌山県教育委員会
鉄刀子・鉄鎌・土師器甕・須恵器坏蓋・坏身・壺	薬勝寺南山1号墳	和歌山市	古墳時代後期	6	和歌山県教育委員会
須恵器装飾付壺・蓋	殿山1号墳（花立山古墳）	和歌山市	古墳時代後期	2	当館
鉄鉈・鉄剣	山崎山2号墳	海南市	古墳時代中期	9	海南市教育委員会
鉄鉈（長頸・平根）・鉄刀・鉄鉈・鉄小刀・鉄鑿・メノウ勾玉・ガラス小玉・須恵器甕・はそう（墳丘上）	山崎山8－Ⅱ号墳	海南市	古墳時代中期	45	和歌山県教育委員会
鉄鉢・琴柱形石製品・ガラス小玉・円筒埴輪	丸山古墳	紀の川市	古墳時代中期	10	高山寺
鉄刀	西浜田1号墳	かつらぎ町	古墳時代中期	1	かつらぎ町教育委員会
第3章 紀中・紀南の単独墳－運ばれた石棺と交流－					
須恵器はそう・高坏・坏身・甕・滑石製管玉・白玉・ガラス小玉・円筒埴輪・蓋形埴輪・大刀形埴輪・家形埴輪	湯浅天神山古墳	湯浅町	古墳時代後期	30	当館
管玉	椒浜古墳群	有田市	古墳時代前期～中期	2	高山寺
銅鉈・勾玉	城山1号墳	みなべ町	古墳時代前期	3	田辺市教育委員会

資料名	遺跡名		時期	員数	所蔵
銅鏡（内行花文鏡か）・鉄刀・鉄剣・ 工具（鉄刀子・鉄鑿）	城山2号墳	みなべ町	古墳時代中期	8	みなべ町教育委員会
鉄刀子・鉄鑿・土師器甕・須恵器 坏蓋・坏身・壺	天田22号墳	御坊市	古墳時代後期	8	御坊市教育委員会
家形石棺片	大谷古墳	和歌山市	古墳時代中期	1	和歌山市
馬具・鉄鑿・鉄刀子・耳環・須恵 器提瓶・壺・坏身・坏蓋・製塩土器・ 円筒埴輪・ガラス小玉・土玉	弁天山古墳（向山4号墳）	日高町	古墳時代後期	36	日高町教育委員会
勾玉・管玉・白玉・ガラス小玉	中ノ谷古墳	日高町	古墳時代中期	22	御坊市教育委員会
鉄鑿・鉄斧・鉄剣	山王2号墳	上富田町	古墳時代中期	4	上富田町教育委員会
鉄剣・鉄鑿・鉄刀子・飾弓・須恵 器壺	脇ノ谷古墳	白浜町	古墳時代中期	12	白浜町教育委員会
鉄刀図面（伊勢田進氏作成）・円 筒埴輪・須恵器坏身・坏蓋・壺	権現平1号墳	白浜町	古墳時代中期	1	田辺市教育委員会
須恵器異形高坏・高坏・管玉・平玉・ 水晶製切子玉・埋木製棗玉・ガラ ス小玉	上ミ山古墳（横穴式石室）	すさみ町	古墳時代後期	10	すさみ町教育委員会
第4章 箱式石棺のはじまりとおわり					
土師器壺・甕・軽石・貝類（イモ ガイ・バカガイ・イタヤガイ）	新庄遺跡（鳥ノ巣遺跡）	田辺市	弥生時代終末期	20	田辺市教育委員会
須恵器坏身・坏蓋	火雨塚古墳	白浜町	飛鳥時代	2	熊野三所神社
鉄刀子	寺内35号墳	和歌山市	飛鳥時代	1	和歌山県教育委員会
耳環	柏原遺跡734号石棺墓	橋本市	飛鳥時代	2	橋本市教育委員会
馬具・鉄鑿・鉄刀子・耳環・須恵 器高坏・坏身・坏蓋・製塩土器	葉糸古墳	田辺市	古墳時代後期	22	田辺市教育委員会

⑤春期企画展「古代「紀伊国」の成り立ち ―奈良・平安時代のわかやまー」

期 間：令和4年3月19日（土）～3月31日（水）（令和3年度分）

会 期：11日（当該年度分）【前年度9日間】

内 容： 古代の「紀伊国」は、歴史書『日本書紀』の記述から7世紀の末頃には成立していたと考えられ、行政区画として7つの「評」（のちの「郡」）に分けられた。このころ、畿内と各地方を結ぶ道路のひとつである南海道が紀伊国内にも整備されたと考えられる。紀伊国の行政の中心である役所「国府」のあった場所と考えられる和歌山市府中は、この南海道の推定ルートに面しており、近年の発掘調査により関連施設とみられる8世紀頃の掘立柱建物が発見され注目されます。このほか県内では、伊都郡や那賀郡、名草郡、在田郡（有田郡）、日高郡で、大型の倉庫や、郡の役所である「郡衙」関連施設、寺院、集落など、飛鳥時代から平安時代の遺構がみつかっています。本展示では、7世紀から10世紀頃における古代の紀伊国の成り立ちとその変化について考えるため、遺跡から出土した瓦や、役人たちが使用した硯、文字の書かれた土器、土馬や人形などの祭祀具、火葬墓に用いた優美な蔵骨器などを紹介した。

入館者数：386人【前年158人】 内有料入館者数：164人【前年41人】

（※資料一覧は、次号に掲載）



写真1 秋期特別展展示風景

(2) 企画展・特別展以外の展示

①和歌山県埋蔵文化財調査成果展

「紀州のあゆみ～発掘された郷土の歴史」

期 間：令和3年5月29日（土）～6月27日（日）

会 期：26日【前年度26日間】

内 容： 公益財団法人和歌山県文化財センター
による展示で、近年実施された和歌山県
内の埋蔵文化財発掘調査の最新成果をい
ち早く公開した。



写真2 スポット展展示風景

入館者数：1,015人【前年266人】 内有料入館者数：
260人【前年132人】

主な展示品：井辺1号墳出土品、田屋遺跡出土品、且来VI遺跡出土品、吉原遺跡出土品

②紀伊風土記の丘開園50周年記念スポット展「松下記念資料館展ーデザインとモチーフ、その誕生の秘密に迫るー」

期 間：令和3年8月29日（土）～9月19日（日）

会 期：21日

内 容： 県立紀伊風土記の丘とともに築50年が経過した松下記念資料館の設計は、世界的に有名な建築家浦辺鎮太郎（1909－1991）によるものである。松下記念資料館の設計には、大阪万博を手掛けた西山卯三（1911－1994）の基本構想を引き継ぎ、岩橋千塚や考古学に関わる多くのデザインやモチーフが取り入れられている。そこで、紀伊風土記の丘開園50周年を記念し、建造物としての松下記念資料館の設計理念や建造物としての魅力について注目するとともに、そのデザインとモチーフについて考古学者の視点から、誕生の秘密について歴史学者の視点から紐解いた。

主な展示品：松下記念資料館設計図面、面格子、屋外等カバー

※当展示以下のスポット展・ミニ展は同時開催の企画展員数に左右されるため入館者数は記載しない。

③ミニ展「ジュニア考古学研究応募作品展」

期 間：令和3年12月14日（火）～令和4年1月10日（月・祝）

会 期：20日

内 容： ジュニア考古学の応募作品5点（小学生個人の部・2点、中学生個人の部・1点、団体の部・2点）を展示した。

主な展示品：※「2 普及活動」の項を参照

④スポット展「和歌山大学と岩橋千塚ー和歌山大学所蔵資料展ー」

期 間：令和4年3月1日（火）～3月31日（木）

会 期：27日

内 容： 和歌山大学には様々な経緯で集められた岩橋千塚古墳群出土と伝えられる資料が保管されており、岩橋千塚古墳群を考える上で大変貴重な資料であることは間違いない。本展では、和歌山大学所蔵の伝岩橋千塚古墳群出土資料（銅鏡・玉類・耳環・馬具・武具・須恵器・埴輪）25点を展示するとともに、出土した時期や古墳について検討した結果を紹介した。

主な展示品：伝岩橋千塚古墳群出土虺龍文鏡、海草郡岡崎村古墳出土馬具、海草郡西和佐村岩橋古墳須恵器

2 普及活動

(1) ものづくり体験

タイトル	実施日	参加人数
勾玉づくり（学校・団体）	春秋遠足等	1,785
埴輪づくり（学校・団体）	春秋遠足等	1,201

(2) 催しもの

タイトル	実施日	参加人数
展示・公開	春期企画展 紀州の獅子と獅子頭	3/20(土)～5/9(日) 1,432
	夏期企画展 古代紀伊の神まつり	7/17(土)～8/29(日) 1,471
	秋期特別展 海に挑み、海をひらく	10/2(土)～12/5(日) 3,947
	冬期企画展 紀北の古墳群	1/15(土)～2/27(日) 776
	春期企画展 古代『紀伊国』の成り立ち	3/19(土)～6/19(日) 386
	古墳公開 県立考古民俗博物館(仮称)建設予定地	3/26(土) 66
	古墳公開 大日山35号墳作業風景	3/26(土) 51
講 座	学芸員講座 岩橋千塚⑮	7/11(土) 54
	学芸員講座 岩橋千塚⑯	9/12(日) 40
	学芸員講座 岩橋千塚⑰	12/26(日) 29
	学芸員講座 熊野⑤	7/4(日) 11
	学芸員講座 熊野⑥	3/20(日) 7
	展示講座① 春期企画展	4/18(日) 9
	展示講座② 紀州のあゆみ	6/20(日) 16
	展示講座③ 夏期企画展	8/29(日) 15
	展示講座④ 冬期企画展	2/6(日) 中止
	古墳ガイドツアー① 大日山地区	4/25(日) 12
	古墳ガイドツアー② 天王塚古墳	12/19(日) 56
	館長講座①	5/15(土) 7
	館長講座②	8/28(土) 7
	館長講座③	10/30(土) 7
	館長講座④	3/12(土) 9
	ボランティア養成講座①	5/8(土) 11
	ボランティア養成講座②	5/22(土) 9
	ボランティア養成講座③	6/12(土) 11
	ボランティア養成講座④	6/26(土) 10
	特別展 講座① ※後頁に掲載	10/10(日) 37
	特別展 講座② ※後頁に掲載	10/17(日) 28
	特別展 講座③ ※後頁に掲載	10/24(日) 35
講 座	特別展 講座④ ※後頁に掲載	10/31(日) 29
	特別展 講座⑤ ※後頁に掲載	11/28(日) 22
	特別展シンポジウム ※後頁に掲載	11/21(日) 69
	風土記の植物①	4/29(木・祝) 3
	風土記の植物②	9/18(土) 15
	風土記の植物③	11/27(土) 10
	風土記の植物④	3/5(土) 中止
	風土記の昆虫①	7・17(土) 10
	風土記の昆虫②	8/25(水) 8
体 験	実物大の埴輪を作ろう①	6/19(土) 10
	実物大の埴輪を作ろう②	9/4(土) 6
	実物大の埴輪を作ろう③	2/13(日) 中止
	第12回 HANI-1 選手権①～⑤	5/16(日)・30(日)・6/6(日)・13(日)・27(日) 105
	埴輪づくり	10/9(土)・16(土)・23(土)・30(土)・11/6(土)・13(土)・20(土)・27(土)・12/4(土)・11(土)・18(土)・25(土) 53
		1/8(土)・15(土)・22(土)・29(土)・2/5(土)・12(土)・19(土)・26(土)・3/5(土)・12(土)・19(土)・26(土) 中止

タイトル			実施日	参加人数
体 験	G Wモノづくり体験	ハニワ	5/2 (日)・3 (月・祝)	中止
	G Wモノづくり体験	まが玉	5/4 (火・祝)・5 (水・祝)	中止
	夏休みモノづくり体験	ハニワ	7/31 (土)、8/1 (日)	153
	夏休みモノづくり体験	まが玉	8/7 (土)、8 (日)	56
	ふどきっず①	田植え	5/23 (日)	27
	ふどきっず②	機織り	7/27 (火)	29
	ふどきっず③	稲刈り	10/3 (日)	22
	ふどきっず④	土器炊飯	12/5 (日)	26
	ふどきっず⑤	紙すき	1/23 (日)	中止
	ふどきっず⑥	うなりごま	2/20 (日)	中止
	ふどきっず⑦	卒業制作	3/13 (日)	26
	鑄造体験	鏡	8/14 (土)	15
その他	夢の博物館		3/27 (日)	9
	ジュニア考古学研究発表	※後頁に掲載	12/12 (日)	46

【主な催しものの内容】

①特別展関連講座・シンポジウム

・令和3年度秋期特別展連続講座（第1回）

開催日：令和3年10月10日（日）13:30～15:30

内 容：柴田昌児氏（愛媛大学准教授）「弥生・古墳時代、瀬戸内の海に生きた人々と海上交通」
 田中元浩（当館）「海を介した交流の再検討―古墳時代の紀伊半島を中心に―」
 萩野谷正宏（当館）「紀伊半島をめぐる弥生時代の東西交流」

・令和3年度秋期特別展連続講座（第2回）

開催日：令和3年10月17日（日）13:30～15:30

内 容：野地恒有氏（愛知教育大学副学長）「海洋性とゆるやかな定住社会～紀州文化への視座～」
 藤井康隆氏（佐賀大学准教授）「今に生きる伊勢湾二千年の海の歴史文化 -タコ・信仰・交流-」

・令和3年度秋期特別展連続講座（第3回）

開催日：令和3年10月24日（日）13:30～16:00

内 容：積山 洋氏（大阪市文化財協会）「古代紀淡海峡周辺の漁業と塩業」
 富加見泰彦氏（元県立紀伊風土記の丘）「紀淡海峡の海人集団」
 河内一浩氏（羽曳野市教育委員会）「みさきの古墳と埴輪」



写真1 特別展連続講座開催状況



写真2 特別展関連シンポジウム討論状況

・令和3年度秋期特別展連続講座（第4回）

開催日：令和3年10月31日（日）13:30～16:00

内 容：須藤 護氏（龍谷大学名誉教授）「紀州漁民の関東出漁と醤油」

藤井弘章氏（近畿大学教授）「海の民俗からみた日本列島のなかの紀伊半島—ウミガメの利用と
信仰の習俗 を中心に—」

蘇理剛志（当館）「年表から読み解く紀州海民の活躍」

・令和3年度秋期特別展連続講座（第5回）

開催日：令和3年10月31日（日）13:30～16:00

内 容：松田睦彦氏（国立歴史民俗博物館准教授）「旅に出てふるさとを生きる一人の移動の民俗学—」

今川 恵氏（国立水産研究・教育機構）「戦後出稼ぎ漁業と和歌山県の漁村」

・令和3年度特別展関連シンポジウム「紀伊半島をめぐる「海の道」と文化交流」

開催日：令和3年11月21日（日）10:00～16:30

内 容：川島秀一氏（東北大学災害科学国際研究所シニア研究員）「カツオ漁と紀州人」

中園成生氏（平戸市生月町博物館・島の館学芸員）「古式捕鯨業時代の紀州と西海の交流」

穂積裕昌氏（三重県埋蔵文化財センター調査課長）「伊勢・志摩・熊野の海人の実像を追う」

寺前直人氏（駒澤大学教授）「海と生きた縄文・弥生時代の人びと—かれらが海に乗り出した理由—」

萩野谷正宏・蘇理剛志（当館）「紀伊半島沿岸における海の生業と文化」

討論 上記講演・報告者、討論司会 櫻井敬人氏（太地町歴史資料室学芸員）

②第8回 チャレンジ！ジュニア考古学

趣 旨： 考古学に関する小中学生の研究成果を募集・表彰し、その成果を発表する場を設けることで、
小中学生が考古学の楽しさを知るとともに、資料をまとめプレゼンテーションをする力をつけ
るなどの研究活動を推奨する機会とする。

応募内容： 和歌山県内の考古学や歴史学など社会科歴史的分野に関係する研究成果で、学校外で未発
表のもの。レポート・作品・歴史新聞など形態は問わない。

対 象： 和歌山県内の小学校・中学校および特別支援学校の小学部または中学部のいずれかに在籍
する児童・生徒、または和歌山県在住の児童・生徒。

応募点数：6点

【個人研究部門・小学生の部】

最優秀賞「縄文時代の食生活の研究②」河野仁宥（和歌山市立川永小学校4年生）

奨励賞 「大谷古墳について」西畑桃奈（和歌山市立安原小学校6年生）

【個人研究部門・中学生の部】

最優秀賞 「下里古墳・津堂城山古墳被葬者自説～中央と地方の古墳の比較～」岩橋直也（和歌山市立高積
中学校2年生）

優秀賞 「雑賀衆と熊野水軍」宮本璃香（和歌山市立明和中学校1年生）

【団体研究部門】

最優秀賞「火起こし・燃料 それぞれの比較～文明の進化の確認～」高積中学校科学部

優秀賞 「はにわを作ってみよう！」われら雑賀崎小学校

- ・関連イベント：第8回「チャレンジ！ジュニア考古学」優秀作品表彰式及び研究発表会

開催日時：令和2年12月12日（日） 13：30～15：00

場 所：紀伊風土記の丘資料館 研修室

作品展示：令和3年12月14日（火）～令和4年1月10日（月・祝）

3 研修・実習等

（1）博物館実習

- ・令和3年度博物館学芸員実習

期 間：令和3年8月24日（火）～8月28日（土）

参加者：7名（他インターンシップ2名、計9名で実施）

和歌山大学5名、桃山学院大学2名

内 容：紀伊風土記の丘の博物館活動（講義） 考古資料の保存と活用

教育普及事業、岩橋千塚古墳群の整備事業

展 示： 展示資料の調査（松下記念資料館）、展示企画・立案

展示（紀伊風土記の丘開園50周年記念スポット展「松下記念資料館展ーデザインとモチーフ、その誕生の秘密に迫るー」）8月29日～9月19日

（2）職場体験実習（インターンシップ）・職場体験学習

当館では、「中学生職場体験学習」及び「和歌山県教育庁等におけるインターンシップ」による中・高校生対象の実習の受け入れを行った。

中学生インターンシップ

紀伊コスモス支援学校	期日	令和3年11月11日（木）、25日（木）	対象	3年生18名
	内容	園内の維持管理業務		
和歌山大学教育学部 附属特別支援学校	期日	令和3年11月17日（水）～19日（金）	対象	3年生5名
	内容	園内の維持管理業務		
和歌山盲学校	期日	令和3年11月17日（水）～18日（木）	対象	2年生1名
	内容	園内の維持管理業務		

高校生インターンシップ

県立那賀高等学校	期日	令和3年8月19日（木）～20日（金）	対象	2年生1名
	内容	園内の維持管理業務、イベントの広報準備作業		
県立和歌山北高等学校	期日	令和3年8月19日（木）～20日（金）	対象	3年生1名
	内容	園内の維持管理業務、イベントの広報準備作業		
県立向陽高等学校	期日	令和3年8月19日（木）～20日（金）	対象	3年生1名
	内容	園内の維持管理業務、イベントの広報準備作業		
県立和歌山高等学校	期日	令和3年8月19日（木）～20日（金）	対象	3年生1名
	内容	園内の維持管理業務、イベントの広報準備作業		

大学生インターンシップ

四天王寺大学	期日	令和3年8月24日（火）～28日（土）	対象	3回生2名
	内容	博物館実習と同内容		

（3）教員対象の研修

当館の学校向けプログラム等の理解を図るため、教員対象の研修（中堅教諭等資質向上研修：教育センター学びの丘と連携、地域社会体験研修）を受け入れている。

教員対象の研修

10年経験者研修 （学校との連携協力による授業作り）	期 日	令和3年12月2日（木）
	対 象	中堅教諭等資質向上研修対象教員15人
	内 容	博物館・文化財を活かした体験活動及び授業づくりー社会教育施設と学校教育の関わり方ー

(4) 博学連携

校種別来館校数・来館者数

校種	校数	割合 (%)	来館者数	割合 (%)
幼稚園・保育所・こども園	9	11.0%	476	10.4%
小学校	62	75.6%	3603	78.5%
中学校	4	4.9%	322	7.0%
高等学校	4	4.9%	127	2.8%
特別支援学校	2	2.4%	14	0.3%
短大・大学・専修学校	1	1.2%	45	1.0%
計	82	100.0%	4587	

月別来館校数

月	幼・保	小学校	中学校	高等学校	特別支援	短大・大学	計	割合 (%)
4月	1	2	1			1	5	6.10%
5月		14		1			14	17.00%
6月		7	1				8	9.80%
7月		2					2	2.40%
8月	1			1			2	2.40%
9月							0	0.00%
10月	3	19	1	1	1		25	30.50%
11月		13	1	1			15	18.40%
12月	2	3					5	6.10%
1月	1						1	1.20%
2月		1					1	1.20%
3月	1	2			1		4	4.90%
計	9	63	4	4	2	1	82	100.00%
割合 (%)	10.00%	76.80%	4.80%	4.80%	2.40%	1.20%	100.00%	

来館団体一覧

来館日	団体名称	人数	来館日	団体名称	人数	来館日	団体名称	人数
4月2日	放課後デイサービスすばる	14	7月6日	安原小学校	89	11月4日	和歌山市地方教育互助会	35
4月14日	羽衣学園中学校	72	8月5日	紀の国わかやま総文2021新聞部門	38	11月6日	新中村化学工業株式会社	20
4月16日	東貴志中学校	24	10月5日	加茂川小学校	36	11月9日	楠見西小学校	31
4月16日	みどり幼稚園	88	10月8日	亀川小学校	64	11月10日	三輪崎小学校	67
4月16日	田中小学校	86	10月8日	大東小学校	43	11月11日	色川小学校	8
4月17日	放課後デイサービスオーパ	14	10月8日	丸栖小学校	54	11月11日	南部小学校	63
5月7日	新南小学校	50	10月12日	こうま保育園	26	11月11日	渋田小学校	36
5月7日	湊小学校	23	10月14日	和歌山ろう学校	3	11月12日	和田小学校	24
5月11日	西和佐小学校	149	10月14日	粉河小学校	80	11月14日	きのくに青雲高等学校通信制	28
5月11日	小倉小学校	43	10月14日	中央小学校	79	11月16日	光洋中学校	74
5月13日	山口小学校	82	10月14日	藤並小学校	102	11月17日	南野上小学校	18
5月14日	川永小学校	50	10月15日	南広小学校	72	11月17日	和歌山県教友会（和歌山支部）	37
5月18日	砂山小学校	57	10月15日	野上小学校	63	11月19日	和歌山大学教育学部附属特別支援学校	7
5月18日	楠見小学校	48	10月15日	糸我小学校	44	11月25日	三田小学校	75
5月20日	四箇郷北小学校	50	10月19日	野崎西小学校	61	11月30日	三尾川小学校	6
5月21日	直川小学校	43	10月20日	山野小学校	7	12月2日	西和佐小学校	32
5月25日	和歌山東高等学校	22	10月20日	江川小学校	13	12月2日	株式会社なにわ工務店	37
5月25日	鳴滝小学校	18	10月20日	和佐小学校	8	12月2日	和歌山県立学びの丘	15
5月28日	芦原小学校	10	10月21日	たちばな幼稚園	111	12月5日	和歌山大学教育学部	10
5月28日	八幡台小学校	93	10月22日	慶風高等学校	27	12月14日	津木小学校	7
5月28日	宮前小学校	117	10月22日	岩代小学校	18	12月16日	アンキッズアカデミー	32
6月1日	楠見小学校	67	10月27日	西和佐幼稚園	65	12月16日	衣奈小学校	4
6月2日	宮小学校	112	10月27日	御霊小学校	55	1月8日	一般社団法人紀の国森社中	22
6月4日	有功小学校	60	10月27日	高池小学校	16	1月15日	アンキッズアカデミー	15
6月8日	西脇小学校みらい分校	5	10月28日	岡崎小学校	98	1月27日	ひまわり園	11
6月17日	貴志南小学校	54	10月29日	泉佐野市立日根野小学校	146	2月8日	西和佐保育園	19
6月17日	近大付属和歌山中学校	202	10月29日	鳥屋城小学校	20	2月9日	西和佐小学校	72
6月19日	放課後等デイサービスオーパ	20	11月2日	山田小学校	20	3月1日	太田小学校	62
6月24日	桃の木台小学校	80	11月2日	箕島小学校	42	3月2日	内原小学校	59
8月29日	紀伊小学校	78	11月2日	今福小学校	27	3月18日	紀伊コスモス支援学校	9
7月2日	岸和田市立旭小学校	84	11月3日	大島小学校	7			

当館では、古墳、民家、展示室及び広い園内の見学や考古・民俗資料を利用した古代生活体験及び昔のくらし体験などの幅広い学習活動を行っている。また、当館に来館できない学校へ職員が赴き、地域の歴史や昔のくらしの解説、昔のくらし体験・モノ作り体験の指導を移動博物館（出前授業）として行っている。



写真3 中学校課外活動の受け入れ状況

○来館校数、来館者数

来館校数は82校、来館者数は4587人（引率教員399人を含む）。校種別では小学校が63校と約

75.6%を占めている。また、月別来館校数では10月に24校（29.6%）11月に15校（18.6%）、5月に14校（17.2%）、6月に8校（9.9%）と続き、春（4,5,6月）、秋（10,11月）の遠足シーズンで61校と全体の約8割を占めている。

○小学校等の活動内容

来館校は事前に打合せを行い、古墳めぐり（オリエンテーリング）、民家・展示見学及び園内や考古・民俗資料を利用した各種の活動プログラムを組み合わせ、発展段階に応じて様々なねらいや内容を設定し学習している。

- ・資料館展示や古墳・民家の見学 ドングリ拾いや植物観察などの園内散策、モノ作り体験。
- ・教科書に対応した体験学習（小学校6年生の古代生活体験、3・4年生の昔のくらし体験など）
- ・「総合的な学習の時間」でのグループ学習他。

4～5月は小学校6年生の社会科に対応した『古代生活体験』、10～11月と1月は小学校3・4年生の社会科に対応した『「昔のくらし」体験学習』を行う学校が多い。

【『古代生活体験』のプログラム】

- ・古代学習：資料館の展示や古墳の見学、火おこしや竪穴住居での体験をとおして、古代の人々の生活について学ぶ。
- ・古墳めぐり：古墳群をめぐり、古墳の大きさや形、多さ、石室の中の広さや暗さ、体感温度などを実際に肌で感じる。
- ・風土記の丘オリエンテーリング：紀伊風土記の丘の園内にある古墳と江戸時代の移築民家をグループ行動で見学し、調べ学習を実施する歴史体験学習。
- ・モノ作り体験：モノ作りの歴史や方法などの解説を聞きながら、石や粘土から勾玉やハニワを作る体験をする。

【『昔のくらし体験学習』のプログラム】

- ・昔のしごと体験：センバコキで米の脱穀、背負子や天秤棒で物を運ぶ、石臼できな粉を挽くなどを体験する。

主な活動プログラムの利用状況一覧

	考古・歴史学習			民俗・民家学習
	古代生活			昔のくらし体験（民 具・民家ワーク ショップ、昔のしご と、あそび体験）
	古代生活体験	モノ作り体験		
	火おこし	勾玉	埴輪	
4月				
5月				
6月		1		
7月	1		1	
8月		1	1	
9月				
10月	9	9	6	8
11月	7	9	3	
12月	2	1	3	
1月			1	
2月				1
3月		1		
計	19	22	15	9

・民家見学・体験：園内に移築された民家で、昔の生活の場の見学及びカウラウス掲きの体験をする。

また、遠足・社会見学では古代生活体験・古墳めぐりなどフィールド活動やモノ作りに重点を置き、後日に移動博物館（出前授業）として、学校周辺の遺跡等を単位とした講義を実施する場合もある。

岩橋千塚古墳群を広く周知したい当館としては、体験学習と講義を合わせた系統的な学習となり、効果的なプログラムとして位置づけている。

令和3年度の来館校の活動プログラムの利用状況は、一覧表のとおりである。

○移動博物館（出前授業）

遠方の学校や交通機関を利用しての来館が困難な学校、遠足で古墳めぐりを実施後に講義を希望する学校、カリキュラムにおいて時間数確保のため来館して学習することが困難な学校や団体等を対象として、「移動博物館（出前授業）」を実施している。

職員が直接出向き、モノ作りや昔のくらし体験活動を行う他、「和歌山の歴史」「学校周辺の歴史」など「ふるさと学習」に係る講義や本物の土器や装身具に触る体験など、学校のニーズに応じて学習支援を行っている。

また、小学校のPTA・育友会・子どもセンター学童保育等の活動や公民館・資料館等の生涯学習活動においてもモノ作り体験等を実施している。

実施にあたり、県内公立学校の教育課程に位置づけた学習については、県教育委員会総務課の「エキスパート職員派遣事業」を活用している。依頼の時期や地域によっては直接相談に応じている。

移動博物館（出前授業）の利用状況

和歌山市立藤戸台小学校	期日	令和3年6月3日（木）	対象	小学生 58 名
	内容	埴輪づくり体験		
和歌山市立松江小学校	期日	令和3年6月8日（火）	対象	小学生 70 名
	内容	郷土の歴史に関する講義、勾玉づくり体験		
和歌山市立藤戸台小学校	期日	令和3年6月9日（水）	対象	小学生 87 名
	内容	埴輪づくり体験		
和歌山市立野崎西小学校	期日	令和3年6月10日（木）	対象	園児等 62 名
	内容	埴輪づくり体験		
和歌山市立和佐小学校	期日	令和3年6月11日（金）	対象	小学生 54 名
	内容	埴輪づくり体験		
和歌山市立中之島小学校	期日	令和3年6月15日（火）	対象	小学生 38 名
	内容	埴輪づくり体験		
海南市立南野上小学校	期日	令和3年6月16日（水）	対象	小学生 8 名
	内容	郷土の歴史に関する講義、勾玉づくり体験等（エキスパート職員派遣事業）		
岩出市立根来小学校	期日	令和3年6月22日（火）	対象	小学生 85 名
	内容	勾玉づくり体験		
有田川町立小川小学校	期日	令和3年6月25日（金）	対象	小学生 12 名
	内容	郷土の歴史に関する講義、勾玉づくり体験等（エキスパート職員派遣事業）		
岩出市立山崎北小学校	期日	令和3年6月25日（金）	対象	小学生等 105 名
	内容	勾玉づくり体験		
和歌山市立楠見東小学校	期日	令和3年7月1日（木）	対象	小学生 45 名
	内容	勾玉づくり体験		
和歌山市立中之島小学校	期日	令和3年7月3日（土）	対象	小学生 72 名
	内容	勾玉づくり体験		
日高町立内原小学校	期日	令和3年7月7日（水）	対象	小学生 77 名
	内容	郷土の歴史に関する講義、勾玉づくり体験（エキスパート職員派遣事業）		
和歌山市立貴志小学校	期日	令和3年7月9日（金）	対象	小学生 51 名
	内容	勾玉づくり体験		
橋本市立西部小学校	期日	令和3年7月13日（火）	対象	小学生 34 名
	内容	郷土の歴史に関する講義、埴輪づくり体験（エキスパート職員派遣事業）		
海南市立日方小学校	期日	令和3年7月16日（金）	対象	小学生 17 名
	内容	郷土の歴史に関する講義、埴輪づくり体験（エキスパート職員派遣事業）		

みどり幼稚園	期日	令和3年7月17日(土)	対象	園児 80名
	内容	火おこし体験		
海南市立加茂川小学校	期日	令和3年7月20日(火)	対象	小学生 18名
	内容	埴輪づくり体験 (エキスパート職員派遣事業活用)		
風土記の丘 紀風園	期日	令和3年8月4日(水)	対象	大人 20名
	内容	埴輪づくり体験		
橋本市立高野口小学校	期日	令和3年8月26日(木)	対象	小学生 37名
	内容	埴輪づくり体験		
和歌山市立川永小学校	期日	令和3年9月9日(木)	対象	小学生 46名
	内容	埴輪づくり体験		
みどり幼稚園	期日	令和3年9月17日(金)	対象	園児 74名
	内容	埴輪づくり体験		
和歌山市立雑賀崎小学校	期日	令和3年10月16日(土)	対象	小学生 16名
	内容	勾玉づくり体験		
県立紀伊コスモス支援学校	期日	令和3年11月9日(火)	対象	中学生 14名
	内容	郷土の歴史に関する講義、勾玉づくり体験 (エキスパート職員派遣事業活用)		
海南市立日方小学校	期日	令和3年11月12日(金)	対象	小学生 17名
	内容	火起こし体験、勾玉づくり体験		
和歌山市立貴志小学校	期日	令和3年11月16日(火)	対象	小学生 51名
	内容	埴輪づくり体験		
岩出市立根来小学校	期日	令和3年11月18日(木)	対象	小学生 85名
	内容	埴輪づくり体験		
ひまわり幼稚園	期日	令和3年11月20日(土)	対象	園児 25名
	内容	埴輪づくり体験		
西和佐小学校	期日	令和3年12月3日(金)	小学生 74名	
	内容	埴輪づくり体験		

○他組織イベントへの参加

- ・サマー遊 ing (和歌山県立図書館文化情報センター) 令和3年7月24日(土): 勾玉づくり体験
- ・まが玉づくり (海南市歴史民俗資料館) 令和3年11月7日(日): 勾玉づくり体験

4 広報活動 (令和4年3月31日現在)

①資料提供 (展示やイベント毎にチラシ等の資料を提供)

県教育記者クラブへの資料提供数 15件
新聞等記事等掲載数 16件

② 情報提供 (定期刊行物に展示やイベント等の情報を提供)

- ・「県民の友」(毎月発行: 和歌山県広報課)
- ・和歌山文化情報誌「ワカピー」(隔月発行: 和歌山県 編集: 一般財団法人和歌山県文化振興財団)
- ・「わかやま探検ミュージアム」(隔月発行: 白光印刷株式会社)
- ・「輝く! 紀の国の教育」(年2回: 和歌山県教育広報紙: 和歌山県教育庁教育総務局総務課)
- ・「教育ラジオ番組 はばたく紀の国」(和歌山県教育庁教育総務局総務課)

③情報提供 (不定期)

- ・「朝日新聞和歌山版」(朝日新聞社)
- ・「毎日新聞和歌山版」(毎日新聞社)
- ・「読売新聞和歌山版」(読売新聞社)
- ・「朝日新聞大阪南部版 折込カレンダー」(ASAPORT)
- ・「ニュース和歌山」(ニュース和歌山)

- ・「紀伊民報」(紀伊民報)
- ・「日高新報」(日高新報社)
- ・「熊野新聞」(熊野新聞社)
- ・「紀州浪漫」(和歌山リビング新聞社)
- ・「WITH NEWS」(<https://withnews.jp/>) (朝日新聞社)
- ・「産経ニュース」(<https://www.sankei.com/>) (産経新聞社)

④インターネット・データによる情報提供

- ・「ホームページの公開」(<http://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>)
- ・「インターネットミュージアム」(<https://www.museum.or.jp/>) (株式会社丹青社インターネットミュージアム)
- ・「縁結び大学」(<https://next-level.biz/>) (株式会社ネクストレベル)
- ・「どぐうぐる」(<https://db.dogugle.com/museum/show/260>) (どぐうぐる)
- ・「るるぶ.com、JTB サイト「るるぶ観光データベース」(<http://rurubu.com>)
- ・「まっふる観光ガイド」(<http://www.mapple.net>) (株式会社昭文社)
- ・「イベントバンクプレス」(<https://www.eventbank.jp/>) (株式会社イベントバンク)

⑤テレビ・ラジオによる情報提供

- ・日本テレビ「スッキリ」令和3年5月24日(ハーモニカ箏笛)
- ・テレビ和歌山「わかやま☆きらりええもんみつけ旅」令和3年9月3日(岩橋千塚古墳群)
- ・テレビ和歌山「ゆうがたサテライト」令和3年8月11日(夏期企画展)
- ・テレビ和歌山「WTVニュース」令和3年8月30日(スポット展)
- ・NHK和歌山局「ギュギュっとわかやま わびたび」令和3年9月13日(スポット展)
- ・NHK和歌山局「ギュギュっとわかやま きらり紀州人」令和3年9月24日(河内一浩)
- ・テレビ和歌山「ゆうがたサテライト」令和3年10月1日(秋期特別展)
- ・テレビ和歌山「6waka イブニング」令和3年10月12日
- ・和歌山放送「wbs ニュース」令和3年10月22日(秋期特別展)
- ・テレビ和歌山「6waka イブニング」令和4年3月29日(紀伊風土記の丘)
- ・テレビ和歌山「WTVニュース」令和年1月16日(冬期企画展)

⑥パンフレット・チラシ等による情報提供

- ・令和3年度イベントガイドの配布
- ・各イベントのチラシの配布

5 ボランティア活動

紀伊風土記の丘ボランティア(平成23年4月設置)は、利用者に対して園内の古墳・民家・万葉植物園等の解説や、資料館の展示解説、学校遠足や体験教室における補助・助言・指導等の活動を行っている。令和3年度のボランティア登録者数は35名である。

令和3年度に実施したボランティア関連事業及び



写真1 古墳ガイドツアー開催状況

ボランティア活動は、以下のとおりである。

(1) ボランティア養成講座

- ・ 日程：令和4年5月14日（土）、5月28日（土）、
6月11日（土）、6月25日（土）全4回毎
回13:30～15:30 研究室及び園内で講習
- ・ 受講者数：11名（うち修了者10名）

(2) ボランティア研修会

- ・ 令和2年度夏期・冬期・春期企画展及び秋期特別展
に係る展示ガイド研修
- ・ 館外研修（中止）

(3) ボランティア活動

①古墳・資料館等ガイド解説

令和3年度 事前申込みガイド実績（団体等）

活動日	活動内容	申込み者	申込み者所在地	参加人数	対応人数
4月9日	資料館・古墳ガイド	個人	—	4	3
4月21日	資料館・古墳ガイド	個人	紀の川市	4	2
5月1日	資料館・古墳ガイド	個人	東京都	7	5
5月4日	古墳ガイド	個人	愛知県	4	1
5月27日	資料館・民家ガイド	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校	和歌山市	11	5
5月28日	古墳・資料館ガイド	松原トレッキングクラブ	大阪府	11	4
5月28日	古墳・資料館ガイド	歴史考古学の集い	大阪府	45	9
6月7日	資料館ガイド	個人	兵庫県	4	1
6月19日	古墳・資料館ガイド	個人	—	2	1
6月24日	古墳ガイド	シニア自然大学校	大阪府	20	8
7月8日	資料館ガイド	個人	—	4	1
7月14日	資料館ガイド	障害者就業支援センターつれもて	和歌山市	15	4
7月14日	資料館ガイド	県立和歌山ろう学校	和歌山市	2	1
9月22日	古墳・資料館ガイド	慶風高校	和歌山市	30	6
10月9日	資料館・民家ガイド	和歌山市視覚障害者福祉協会	和歌山市	30	6
10月16日	古墳・資料館ガイド	個人	滋賀県	3	1
10月22日	古墳・資料館ガイド	大阪府高齢者大学校矢倉会	大阪府	10	3
10月27日	古墳ガイド	個人	大阪府	2	1
合計		18 件		208 名	62 名

令和3年度 資料館待機ガイド実績（個人等）

活動日	活動内容	申込み者	申込み者所在地	参加人数	対応人数
4月3日	古墳ガイド	個人	和歌山市	2	1
4月18日	古墳ガイド	個人		3	1
4月18日	古墳ガイド	個人		2	1
4月25日	古墳・資料館ガイド	個人		2	1
5月2日	資料館ガイド	個人	和歌山市	4	1
5月9日	資料館ガイド	個人		4	1
5月23日	古墳ガイド	個人	海南市	2	2
5月30日	資料館ガイド	個人		8	3
6月6日	資料館ガイド	個人		8	3
6月13日	古墳・資料館ガイド	個人		4	3
6月13日	古墳・資料館ガイド	東海大学		2	1
6月20日	資料館ガイド	個人		9	3



写真2 ボランティア養成講座開催状況

活動日	活動内容	申込み者	申込み者所在地	参加人数	対応人数
7月18日	資料館ガイド	個人		2	1
7月22日	資料館ガイド	個人		6	1
8月15日	資料館ガイド	個人		15	3
8月22日	資料館ガイド	個人	大阪府	5	2
9月5日	古墳ガイド	個人		2	1
10月3日	古墳・資料館ガイド	個人		12	4
10月31日	資料館ガイド	個人		10	2
11月6日	資料館ガイド	個人		2	1
11月21日	園内・資料館ガイド	個人		5	2
12月5日	園内・資料館ガイド	個人		8	2
12月12日	資料館ガイド	個人		2	1
12月25日	資料館ガイド	個人		2	1
1月9日	古墳・資料館ガイド	個人	木津川市	2	1
1月16日	園内・資料館ガイド	個人		5	2
3月13日	資料館ガイド	個人		8	3
3月20日	資料館ガイド	個人	東京都	3	3
3月27日	資料館ガイド	個人		4	3
合計		29件		143名	57名

②学校遠足・体験教室における補助等

ゴールデンウィークモノづくり体験(4～5月)、夏休みモノづくり体験(8月)、学校遠足(4～6月、10月)、ふどきつず(4月、7月、10月)の体験補助・指導・助言を行った。

③その他

古墳ガイドツアー：大日山地区（令和3年4月25日）、天王塚古墳（令和3年12月19日）、古墳公開：和歌山県立考古民俗博物館（仮称）試掘確認調査現地説明会（令和4年3月26日）において、ボランティアが運営に参加した。この他、ボランティア有志による曜日別勉強会（水曜日・土曜日）、ガイド用教材作成を行った。

（4）ボランティア活動10年継続者の表彰

【令和4年度対象者（平成25年度：第3期ボランティア登録者）】該当者なし

6 管理運営・環境整備

（1）文化財の維持管理

特別史跡「岩橋千塚古墳群」周辺の整備及び重要文化財民家等の維持管理

①古墳群周辺の整備

- ・園内笹草等除去処分業務（1,098千円）

公園内の最高所にある将軍塚古墳群をはじめ、公開古墳の周辺や小古墳群が見学できる地域及び周辺などを入園者を安全かつ快適に利用できるように面積100,000㎡の笹草除去を業者委託により行う。（令和3年12月～令和4年3月）

- ・天王塚古墳笹草等除去処分業務（638千円）

天王塚古墳調査作業の安全確保及び調査環境を整備するために面積4,730㎡の笹草除去を業者委託により行う。（令和3年9月～令和4年3月）

②重要文化財民家等維持管理

- ・民家防虫防除等（162 千円）

重要文化財民家（旧柳川家、旧谷山家）、県指定文化財民家（旧小早川家、旧谷村家）、復元竪穴住居に薬剤処理を行った。（令和 3 年 12 月）

（２）資料館及び史跡公園内の管理・環境整備

来館者・来園者の安全、快適性・利便性を確保するため、職員による進入路、園路の補修、樹木剪定、草刈り・落ち葉清掃等史跡公園内の管理環境整備を行っている。また、業務委託により警備、清掃、防火設備管理等資料館及び公園内の維持管理並びに危険木伐採等の補修整備を行っている。

①史跡公園内の管理・環境整備

- ・幹線園路及び公開古墳の清掃、園内周辺の落ち葉清掃及び芝草刈り、樹木の剪定
- ・園内の倒木の撤去、排水路の浚渫
- ・移築民家 4 軒及び和船展示施設の管理、茅葺き民家と竪穴住居の燻蒸、防火用水の管理、石垣
- ・竹垣の管理補修
- ・進入路、万葉植物園等の植物への水遣り及び万葉植物園の竹柵等設置
- ・毛虫発生時の殺虫剤散布、ハチの巣駆除

②資料館及び園内の施設・維持管理

- ・資料館及び園内の警備業務委託（4, 510 千円）
- ・資料館清掃及び園内トイレ清掃の業務委託（2, 695 千円）
- ・電気保安管理、浄化槽維持管理、防火設備管理及び貯水槽清掃の業務委託（483 千円）
- ・建築基準法 1 2 条に基づく定期点検業務（55 千円）

③資料館及び園内の主な修繕整備

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| ・消防設備修繕（5 千円）（8 月） | ・館内水道管修繕（95 千円）（8 月） |
| ・除湿器修繕（165 千円）（9 月） | ・浄化槽修繕（281 千円）（9 月） |
| ・照明器具修繕（94 千円）（10 月） | ・駐車場トイレ浄化槽用ブロアー修繕（39 千円）（12 月） |
| ・旧柳川家蔵外壁補修修繕（841 千円）（2 月） | ・園内整備用ダンプトラック修繕（150 千円）（3 月） |

④園内工事

- ・連絡道路建設工事（92, 206 千円）（令和 3 年 9 月～令和 4 年 7 月）
- ・大日山 1 号墳墳丘等整備工事（3, 780 千円）（令和 4 年 1 月～令和 4 年 3 月）

7 特別史跡岩橋千塚古墳群保存修理事業

（１）保存修理事業

①特別史跡岩橋千塚古墳群歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（国庫補助事業）

総事業費 28, 660, 059 円（令和 2 年度繰越事業）

- ・天王塚古墳連絡道路設置工事

天王塚古墳の公開活用のために必要な管理用道路の設置工事を平成 30 年度から令和 3 年度で実施した。令和 2 年度は総延長 800m の内、S.P7 から東へ 106. 5m について、幅員 3. 5m の管理用道路の設置工事を実施した。また、令和 30 年度から令和 2 年度に設置した道路部分 380m についてコンクリート舗装を、令和

2年度道路部分 380m 及び令和3年度道路敷設予定の 420 mについては伐木を実施した。本工事は、令和2年度から繰り越しを行い、令和3年7月に完了した。

- ・古墳修景工事

毀損の進む石室を保護するため、前山 B42 号墳の石室を簡易実測した後に、砂で埋め戻し、真砂土による墳丘復元後、墳丘表面には種子ネットにより緑地化を図った。

- ・前山 A58 号墳説明板設置業務

県民への公開・活用を図るため、近年墳丘復元整備を実施した前山 A58 号墳の説明板を製作し、主園路沿いに設置した。

- ・天王塚古墳整備基本設計策定業務

天王塚古墳を整備するための整備計画の立案、整備事業費の積算、整備計画図書の作成を行った。

- ・岩橋千塚古墳群整備報告書作成業務

平成 27 年度から令和 2 年度に実施した岩橋千塚古墳群第 2 期整備計画の報告書を刊行した。

②特別史跡岩橋千塚古墳群歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（国庫補助事業）

総事業費 131,768,059 円（一部次年度に繰越）

- ・天王塚古墳連絡道路設置工事

天王塚古墳の公開活用のために必要な管理用道路の設置工事を、前年に引き続き実施した。令和3年度は N0.18+5.0 地点から終点までの約 381m の区間を実施した。本工事は、令和4年度に繰り越しを行い、令和4年7月末に完了した。

- ・古墳修景工事

毀損の進む石室を保護するため砂・真砂土で埋め戻しを行うとともに、削平された墳丘に対して盛り土による保護・修景を行った。令和3年度は、大日山 1 号墳の盗掘坑等の埋め戻し、真砂土による墳丘の復元、種子ネットによる緑化を図った。また、盗掘坑等の埋め戻しに際しては、簡易実測作業を実施した。

- ・大日山 35 号墳及び前山 A13 号墳整備実施設計業務

大日山 35 号墳及び前山 A13 号墳の横穴式石室の排水状況を改善する整備について実施設計を作成した。

- ・天王塚古墳整備実施設計業務

天王塚古墳の墳丘整備についての実実施設計を作成した。

③岩橋千塚古墳群歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（石垣調査）（国庫補助事業）

事業費 8,753,134 円

- ・大日山 35 号墳・大谷山 22 号墳石室 3D レーザー測量委託業務

大日山 35 号墳横穴式石室 1 基（150 m²）及び大谷山 22 号墳横穴式石室 1 基（83 m²）の 3D レーザー測量、3 次元計測およびオルソ画像作成を実施した。

- ・前山 A46 号墳横穴式石室 3 次元計測委託業務

前山 A46 号墳横穴式石室 1 基（61 m²）の SfM/MVS による 3 次元計測およびオルソ画像作成を行った。

④県内遺跡埋蔵文化財調査事業（国庫補助事業）

事業費（紀伊風土記の丘分）9,767,552 円

- ・県立考古民俗博物館（仮称）建設に伴う埋蔵文化財確認調査

県立考古民俗博物館（仮称）の建設予定地が周知の埋蔵文化財包蔵地である岩橋千塚古墳群、岩橋Ⅱ遺跡に該当するため、埋蔵文化財の展開状況及び古墳等の有無を確認する目的で確認調査を実施した。確認

調査は公益財団法人和歌山県文化財センターに支援業務を委託し、当館が実施した。なお、確認調査のうち掘削作業、記録作成作業、応急整理は国庫補助事業で、新たに発見した古墳の記録作成補足作業、埋戻し作業は単費で実施した。

⑤特別史跡岩橋千塚古墳群整備検討会議

- 第1回整備検討会議
- 令和3年9月7日
- 於
- 紀伊風土記の丘（和田・小野・禰宜田・増渕委員）
- 第2回整備検討会議
- 令和4年3月4、16、18日
- 於
- 紀伊風土記の丘（和田・小野・禰宜田・増渕・松木委員）

整備検討会議の構成		
氏 名	所 属 等	専 門 等
小野 健吉	大阪観光大学 教授	遺跡整備
禰宜田 佳男	大阪府立弥生博物館 館長	考古学
増渕 徹	京都橘大学 教授	遺跡整備
松木 武彦	国立歴史民族博物館 教授	考古学
和田 晴吾	兵庫県立考古博物館 館長	考古学
中村 浩道	当館 館長	考古学



写真1 天王塚古墳連絡道設置工事



写真2 大日山1号墳修景工事



写真3 前山 A13 号墳横穴式石室

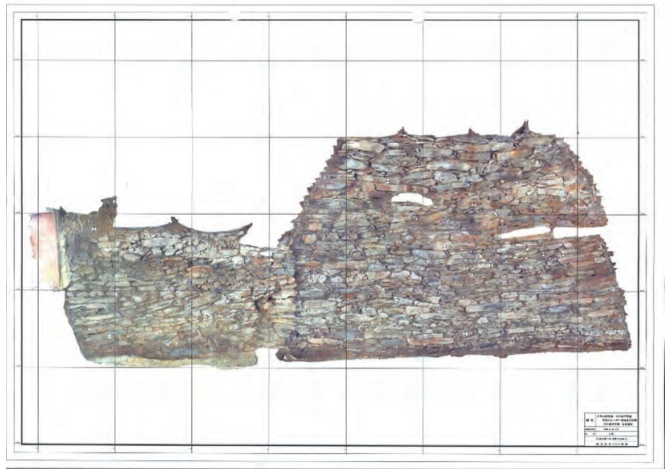


写真4 大日山 35 号墳横穴式石室 オルソ画像



写真6 前山 B370 号墳（仮称）横穴式石室

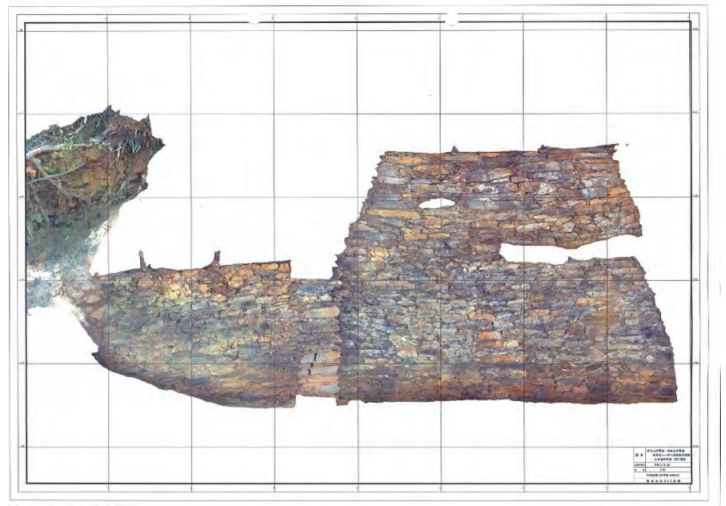
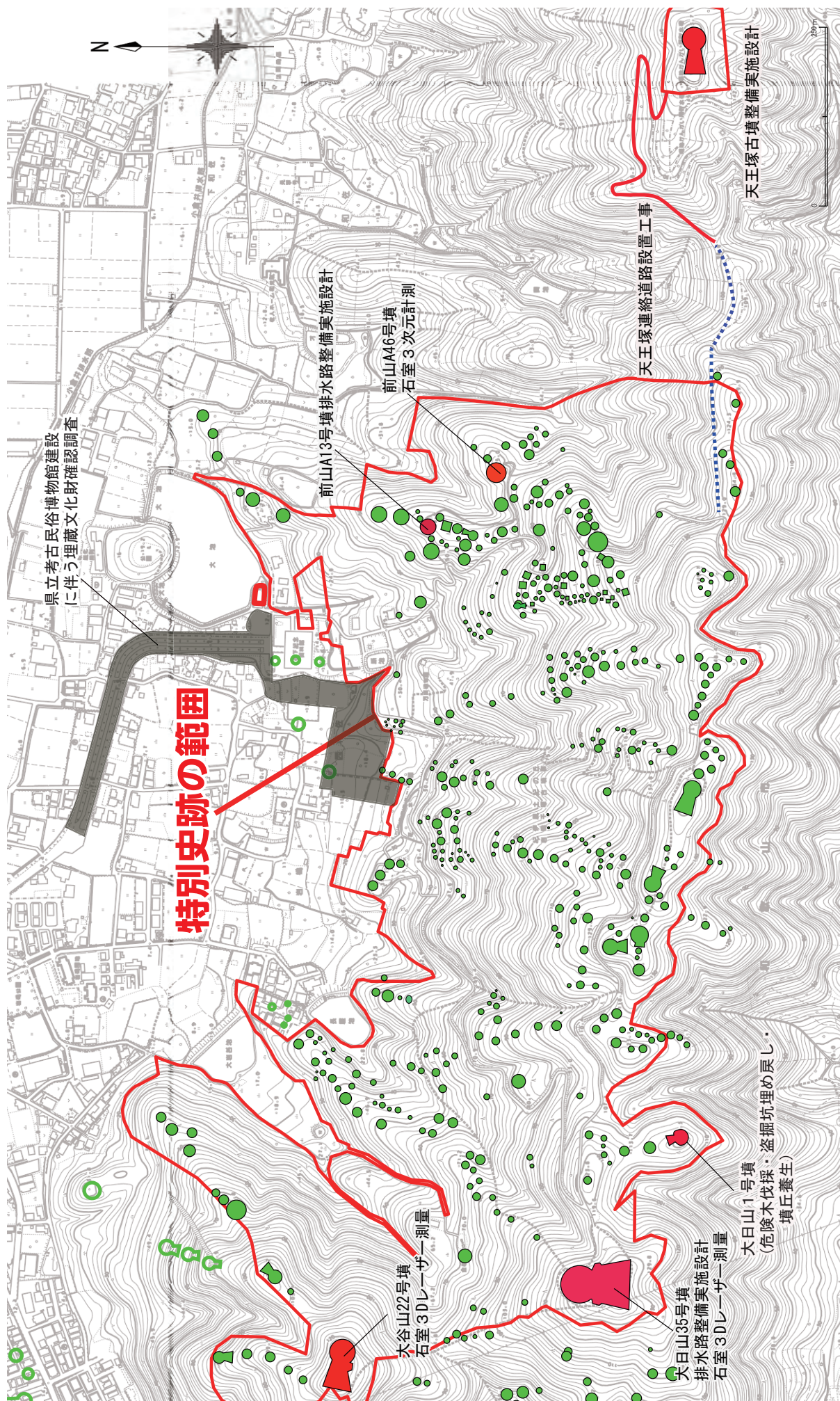


写真5 大谷山 22 号墳横穴式石室 オルソ画像



令和3年度 特別史蹟岩橋千塚古墳群等保存整備事業 位置図 S-1(7,000)

(2) 調査報告

① 竪穴系埋葬施設復旧作業（前山 A100 号墳、前山 A111 号墳）報告

1) 調査目的

公開古墳の竪穴式石室及び箱式石棺は、天井石が無いため近年の大雨等の影響で内部への流土堆積が著しく、各構造が不明確となっている。このため、流入土を除去し、来園者にその価値を明瞭に明示するとともに、今後の土砂流入状況に応じて覆屋等の整備方法を検討するため、令和 3 年度は優先度の高い前山 A100・111 号墳の復旧作業を実施した。復旧作業は、前者が令和 3 年 4 月 14 日～5 月 25 日、後者が令和 3 年 6 月 3 日～15 日で実施した。

2) 既往の調査と現況

前山 A100 号墳は一辺約 9m の方墳で、埋葬施設は箱式石棺である。大正 7 年(1918)の第一期調査(以下、「第一期調査」という。)で発掘調査が行われたが、遺物は出土していない。また、昭和 54 年度(1979)に測量調査が行われている。これまでの石室実測図を参考にとすると、箱式石棺内に平均約 30 cm 程度の流土堆積が想定された。

前山 A111 号墳は一辺 9～10 m の方墳で、埋葬施設は竪穴式石室である。前山 A100 号墳と同様に、第一期調査で発掘調査が行われたが遺物は出土していない。また、昭和 54 年度(1979)に測量調査が行われている。これまでの石室実測図を参考にとすると、竪穴式石室内に約 10 cm 程度の流土堆積が想定された。

3) 復旧作業の方法

特別史跡岩橋千塚古墳群整備検討会議の調査指導を受け、和歌山県立紀伊風土記の丘職員が実施した。作業は埋葬施設周辺を清掃したのち、石棺及び石室内を人力により掘削を行った。また、必要に応じて図面・写真等の記録作成を実施した。掘削堆積土は全て土嚢袋に入れ持ち帰り、水洗・フルイを実施した。なお、前山 A111 号墳については、第一期調査時の掘削深度まで掘り下げを行ったところ、壁面石積よりも深く掘削が行われていることが判明した。この状態での公開は、雨水による石積下土壁面の浸食により石積の不安定化を招く可能性があることから、記録作成後、掘削土を用いて床面から 5 cm 程度人力埋め戻しを行った。

4) 調査成果

前山 A100 号墳では、箱式石棺床面を約 30 cm 程度掘削し底石を検出した。堆積土及び床石上面からは現代遺物が出土しており、堆積土は全て第一期調査以降のものと考えられる。なお、長側石の外側と内側間も石棺内と同様に約 30 cm 程度流土が堆積しているとみられるが、内側側石の補強のため外側と内側側石の間の流土は除去せず、外側側石は配石状況が視認できるよう石頭のみ検出するに留めた。

前山 A111 号墳では、竪穴式石室床面約 10 cm 程度について掘削を行った。掘削した堆積土及び底部からは現代遺物が出土しており、堆積土は全て第一期調査以降のものであると考えられる。また、石室内床面付近で確認された小型の石材 2 点は、この堆積土上にあることが確認されたことから、側石等の落石とみて記録作成後に除去した。一方、掘削した床面上で、これまでの実測図にはない石材が 1 点新たに確認された。これについては、念のため残置している。

【参考文献】

和歌山県 1921『和歌山県史蹟名勝天然記念物調査会報告書』1

和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所 1981『紀伊風土記の丘年報』第 8 号



写真 1 作業前状況（東から） 写真 2 作業後状況（東から） 写真 3 作業前状況（東から） 写真 4 作業後状況（東から）

③雨水滞水整備工事に先立つ大日山 35 号墳発掘調査報告

1) 調査目的

雨水が滞水する大日山 35 号墳横穴式石室の滞水原因を究明し、整備方法の検討を行うための基礎資料を得るために、後円部横穴式石室の西側に設置された大日如来参拝施設の構造物基礎及び墳丘・墓道・排水溝・円筒埴輪列の残存状況を確認することを目的として、令和 4 年 1～3 月及び 6 月に発掘調査を実施した。

2) 既往の調査

大日山 35 号墳は、特別史跡岩橋千塚古墳群第 1 期整備事業に伴い墳丘及び造り出しを中心として、平成 15～17 年度に第 1～3 次調査が実施され、その第 1 次調査にて横穴式石室も床面及び排水溝の確認のための発掘調査が実施された。その後、今回の調査目的同様に滞水原因究明を目的として、令和 2 年度に羨道部排水溝の発掘調査を実施された。

3) 発掘調査の方法

①調査区の配置

調査目的に鑑みて、3 つの調査区を設定した。1 区 8.1 m²は墓道及び排水溝の残存状況確認を目的として現在の石室入口西側約 4 m 四方のコンクリート製基礎の内側に、2 区 2.4 m²は石室入口部・前庭部及び排水溝の残存状況確認を目的として現在の石室入口西側の延長部にあたる大日如来参拝施設西側に、3 区 4.32 m²は後円部墳丘斜面・テラス面等の残存状況の確認を目的として現在の石室入口西側のコンクリート基礎等の北側に設定した結果、合計 14.82 m²の調査を実施した。なお、3 区は現状の遊歩道より東側を 3-1 区、西側を 3-2 区に区分した。

②調査方法

特別史跡岩橋千塚古墳群整備検討会議の調査指導を受けて、和歌山県立紀伊風土記の丘職員が担当して実施した。調査は、人力による掘削ののち図面・写真等の記録作成を実施した。その後、調査区床面に不織布を敷設のうえ、2・3 区は人力により、1 区は人力と機械により埋め戻した。

4) 調査報告

ア 基本土層

1～3 区で、大別して 7 層の土層を確認し、各調査区で細分した。土層の概要は次の通りである。1 層は表土（1a 層）及び大日如来参拝施設に伴う造成土（1b 層）である。1b 層は 1 区及び 3-1 区のお大半では約 0.2m の厚さだが、3-1 区西端・2 区・3-2 区では 0.4～1.2m に及ぶ。2 区では 1a 層で棧瓦が出土したことから、過去の大日如来参拝施設は棧瓦葺と推定できる。2 層は 1 区検出の横穴式石室の墓道埋土で、須恵器高杯脚部（2c 層）が出土した。3 層は 1 区検出の墓道下層及びその北側で検出した横穴式石室の墓坑（作業道）の 2 次埋土で、遺物は墓道直下で須恵器無蓋高杯杯部（3j 層）が出土した。4 層は 2 区検出の横穴式石室の墓坑（作業道）の 1 次埋土又は墓坑（作業道）設置以後の大日山 35 号墳墳丘盛土である。5 層は 1・2 区検出の石室排水溝設置後、主に墓道下層及びその南側で検出した横穴式石室の墓坑（作業道）の 1 次埋土である。6 層 1・2・3-1 区検出の横穴式石室の墓坑（作業道）設置以前の大日山 35 号墳墳丘盛土である。1 区の墓坑（作業道）の南側では、版築状の互層となった状態で堆積する。7 層は大日山 35 号墳築造以前とみられる土層で、7a 層は暗灰色の土層が 1 区・3-1・2 区で検出し、色調や検出範囲から旧表土と推定できる。1 区（旧 1-3 区・サブトレンチ 2）と 3-1 区では岩盤（7c 層）を検出した。

イ 検出遺構

1 区では、表土及び造成土（1 層）0.1～0.3m を除去した標高 134.6～134.9m で、2・3・5・6 層を検出した。その検出面直上までコンクリート基礎が認められ、検出面も平坦であることなどから、大日如来参拝施設造成に伴い 1 区周辺の墳丘が削平されたと推定できる。2・3・5・6 層の検出面では、石室から西に延びる東西方向の溝状を呈する遺構を検出した。その規模やサブトレンチ 1 で検出した排水溝蓋石との土層の重複関係から、この遺構は横穴式石室の構築に先立ち設けられた、墓坑又は作業道と考えられる。検出した墓坑（作業道）の東西長は北側上端で約 1.7m、南北幅員は最大 3.1m に及ぶ。横穴式石室の墓坑（作業道）の埋土の重複関係から、結晶片岩板石を蓋石とする排水溝を設置後、墓坑（作業道）の南側中心に版築状に互層に埋め（1 次埋土・5 層）、その後、北側を中心に埋める（2 次埋土・3 層）。すなわち、墓坑（作業道）中心部を埋めることにより墓道床面構築と同時に、北側を埋めつつ結晶片岩板

石を用いた疎らな側壁状に石積みで墓道の北壁を形成するという墓道構築（作業道埋戻）順序が復元できる。

横穴式石室の墓坑（作業道）の中心部に設けられた墓道は、現在の石室入口から大日如来参拝施設までの間の東西長約 2.6m の範囲で検出した。残存幅 0.8 ～ 1.3m、残存高 0.5 ～ 0.6m である。墓道の下部約 0.3 ～ 0.4m は、均質な土壌（2d 層）が堆積するため、短期間で埋められたと推定する。墓道床面では、現在の石室入口の西側で幅 0.35 ～ 0.55m、長 0.9m 以上の結晶片岩板石を検出した。土層の重複関係から墓道構築に伴い、設置されたとみられる。

2 区では大日如来参拝施設の造成土（1b 層）が約 0.8 m 堆積し、その下層で検出した墓坑（作業道）の 1 次埋土又は墓坑（作業道）設置以後の大日山 35 号墳墳丘盛土（4 層）の下層にあたる現地表面から約 1.4m の位置で、結晶片岩板石とその北側及び直下で直径 2 ～ 3 cm の円礫を集積する東西方向の溝状遺構を検出した。溝状遺構は方向性や構造が羨道部検出の排水溝と一致することから、石室の排水溝の延長部に該当すると判断した。検出した排水溝も羨道部検出の排水溝同様、素掘りの V 字形の溝に円礫を充填し、結晶片岩により蓋石を架構する構造とみられる。排水溝の上層に明確な攪乱は認められないにもかかわらず、蓋石の外側に円礫を検出したことから、築造当初から 2 区付近の排水溝が損壊していた可能性が高い。

3 区のうち 3-1 区では隣接する 1 区北端部と凡そ同様の堆積状況で、大日如来参拝施設のコンクリート基礎及び表土・造成土（1 層）直下で、墓坑（作業道）設置以前とみられる盛土（6 層）を検出した。盛土（6 層）の下 0.1 ～ 0.5m の位置で、3-1 区東端を除いた範囲において旧表土（7a 層）を検出した。3-2 区では南側に隣接する 2 区と凡そ同様の堆積状況で、東端では現地表面下約 0.9 m で 4 層を、その約 0.3m 下で旧表土（7 層）を検出した。東端部以外では、現地表面から最大約 1.2m 下まで、埴輪片を含む造成土（1b 層）の堆積が認められることから、この周囲が大日如来参拝施設設置に伴い墳丘形状が大きく改変されたことを確認した。

5) 調査成果

今回の調査で、横穴式石室構築に先立ち設けられた墓坑（作業道）を検出した。検出範囲での南北最大幅員は 3.1m に及ぶ。同種の墓坑（作業道）は、大谷山 28 号墳（前方後円墳・墳長 27m・5 世紀末～6 世紀初頭）横穴式石室でも確認されている。墓坑（作業道）では、石室から延びる断面 V 字形の素掘り溝に円礫を充填のうえ結晶片岩板石により蓋石とした排水溝を設置し、その後、墓坑（作業道）の南側を埋め（1 次埋土・5 層）、さらに、北側を埋める（2 次埋土・3 層）ことにより、墓道床面とともに、疎らな石室側壁状の石積みにより北面を形成して、墓道を構築する。墓道中央部の位置で、墓坑（作業道）埋めて墓道を構築する段階で埋められた須恵器無蓋高杯が出土したことから、埋葬施設構築中の祭祀の執行が想定される。石室墓道は、幅 0.8 ～ 1.3m、高 0.5 ～ 0.6m 残存し、埋土の状況から少なくとも墓道の下部は短期間で埋められたと推定した。墓道埋土（2c 層）から出土した長脚二段透かし孔の須恵器高杯脚部の年代は、大日山 35 号墳の築造時期と一致するもので、明確な追葬の痕跡は確認できない。また、2 区で損壊した状態の排水溝を検出したことから、築造当初から排水溝の排水機能は十分に機能していなかった可能性が高く、排水溝の排水機能の回復も困難と考えられる。3 区で墳丘盛土を検出したが、その傾斜やその傾斜変換点などが築造当初か、後世の影響（大日如来参拝施設）かは、俄かには確定できないが、コンクリート基礎との位置関係から後世の影響の公算が高い。なお、墳丘テラスの円筒埴輪列の痕跡は確認できなかった。以上のとおり、現在の石室入口付近の墳丘は削平されているものの、石室構築関連の遺構（墓坑（作業道））並びに墓道の残存状況は非常に良好であったが、大日如来参拝施設西側墳丘斜面は、同施設設置に伴い多量の土壌の移動が認められ、墳丘形状の改変が大きいことを改めて確認できた。

【参考文献】

和歌山県教育委員会 2013『大日山 35 号墳発掘調査報告書―特別史跡岩橋千塚古墳群 発掘調査・保存整備事業報告書 2―』

和歌山県教育委員会 2015『特別史跡岩橋千塚古墳群 発掘調査・保存整備事業報告書 3―大日山 35 号墳・前山 A13 号墳・前山 A58 号墳発掘調査報告書―』

和歌山県立紀伊風土記の丘 2022「前山 A13 号墳及び大日山 35 号墳の排水溝発掘調査報告」『紀伊風土記の丘研究紀要』第 9 号



写真1 1区掘削完床面全景（東から）



写真2 1区墓道断面・基石（西から）



写真3 1区墓坑（作業道）南側埋土（東から）



写真4 1区墓坑（作業道）北側埋土（東から）



写真5 1区排水溝蓋石検出状況（東から）



写真6 2区調査状況全景（北から）



写真7 2区排水溝蓋石及び玉石検出状況



写真8 3－1区全景（西から）

③古墳修景工事に係る事前調査（大日山1号墳）報告

1) 調査目的

大日山1号墳では、過去の盗掘や経年変化による土砂の流出、イノシシ等による獣害による埴輪の露出等の毀損が進行していたことから、墳丘保護のため保存整備工事を実施することになった。そのため、工事にあたり、現状の墳丘状況を記録するため、事前に草刈や落ち葉等の清掃を実施し、墳丘状況の記録作成を行った。調査は、令和4年1月18日～3月18日まで実施した。

2) 既往の調査と現況

この古墳は、大日山35号墳が所在する大日山山頂より東南に派生する尾根の標高123m地点に位置している。昭和41年(1966)に関西大学文学部考古学研究室が、平成18年度に和歌山県教育委員会が墳丘測量調査を実施している。墳丘は全長31.5mの前方後円墳で、後円部径21m、後円部高4.8m、前方部長10m、前方部幅13m、前方部高1.6mと前方部が短く低い点に特徴がある。また、墳丘下段に基壇をもつ可能性が指摘されている。墳丘主軸は南北方向で、ほぼ真北に前方部を向ける。既往の調査時やその後のイノシシの獣害による現地確認等の際に、墳丘から石見型や馬形、大刀形埴輪等の形象埴輪や円筒埴輪、須恵器・土師器片が採集されているほか、樹立埴輪も確認されている。樹立埴輪については、確認後、保存のため土嚢袋や土砂で埋め戻しを行っている。埋葬施設は明らかではないが、後円部の高さから横穴式石室と推測されている。古墳の築造時期は、出土遺物から6世紀前半と考えられる。

3) 事前調査の方法

特別史跡岩橋千塚古墳群整備検討会の調査指導を受けて、和歌山県立紀伊風土記の丘職員が担当して実施した。調査は、人力で墳丘の伐木や草刈り、落ち葉等の清掃を行い、必要に応じて図面・写真等の記録作成を実施した。また、今回の調査では多数の樹立埴輪や原位置を離れた埴輪、須恵器、土師器片を墳丘全域で確認しているが、樹立埴輪は調査中に倒壊した1点を除き現地保存とし、原位置を離れて出土している遺物については、大日山1号墳の墳丘上での埴輪配置や土器儀礼、築造時期等を検討する資料とするため、採集し持ち帰った。調査完了後、盗掘坑や現地保存とした樹立埴輪に不織布を敷設し、整備工事に備えた。

4) 調査成果

調査の結果、既に確認されていたものも含め、大日山1号墳の墳丘には計28本の樹立埴輪を確認したほか、墳丘全域で埴輪や須恵器、土師器が採集された。また、後円部に盗掘穴とみられる掘削痕跡を3か所（後円部盗掘坑①、②、③）、前方部に盗掘穴とみられる掘削痕跡を2か所（前方部盗掘坑①、②）確認した。古墳の築造時期は、今回の出土遺物を加えても、これまでの想定と変更なく6世紀前半と考えられる。

ア 樹立埴輪

確認された計28本の樹立埴輪のうち、後円部に10本、前方部に18本確認された。後円部では、10本のうち後円部墳頂上付近の2本は形象埴輪で、家形埴輪基部と動物形埴輪の脚部である。既往の調査及び今回の事前調査において、後円部墳頂からは家形、石見型、大刀形、人物形埴輪等が採集されており、ここに形象埴輪群が樹立されていたものとみられる。そのほか樹立埴輪は円筒埴輪とみられ、検出された位置から、形象埴輪群の外側に、直径7m程度の円形で取り囲むように配置されていたものと推測される。



写真1 調査後全景（北から）



写真2 調査後全景（北西から）

前方部では、18本のうち前方部前端付近で家形埴輪基部と動物形埴輪脚部の2本の形象埴輪を確認している。家形埴輪は後円部と異なり極めて小型のもので、動物形埴輪は馬形埴輪とみられる。そのほか円筒埴輪は墳丘を取り囲むように配置されており、東くびれ部から後円部裾部に向かって樹立する円筒埴輪列が確認されていることから、円筒埴輪列は前方後円墳形に墳丘全体を取り囲むものであったと推測される。

イ 後円部盗掘穴①

後円部南西側で確認した長さ5.1m、幅4.3m、深さ約2.0mの墳丘最大規模の掘削痕である。掘削痕表面の清掃を行ったが、石室に付随するとみられる石材の露出は確認されなかった。また、副葬品とみられる遺物も出土していない。

ウ 後円部盗掘穴②

後円部南東側では、長さ0.6m、幅0.8m、深さ0.3mの浅い掘削痕を確認した。掘削痕表面の清掃を行ったが、後円部盗掘坑①と同様、石室石材や副葬品の出土は確認されていない。

エ 後円部盗掘穴③

後円部東側では、長さ4.6m、幅2.7m、深さ1.7mの細長い掘削痕を確認した。掘削痕表面の清掃を行ったが、後円部盗掘坑①・②と同様、石室石材や副葬品の出土は確認されていない。

オ 前方部盗掘穴①

前方部端北東側では、長さ約3m、幅約1.4m、深さ0.5mの浅い掘削痕を確認した。掘削痕表面の清掃を行ったが、石室石材や副葬品の出土は確認されていない。

カ 後円部盗掘穴②

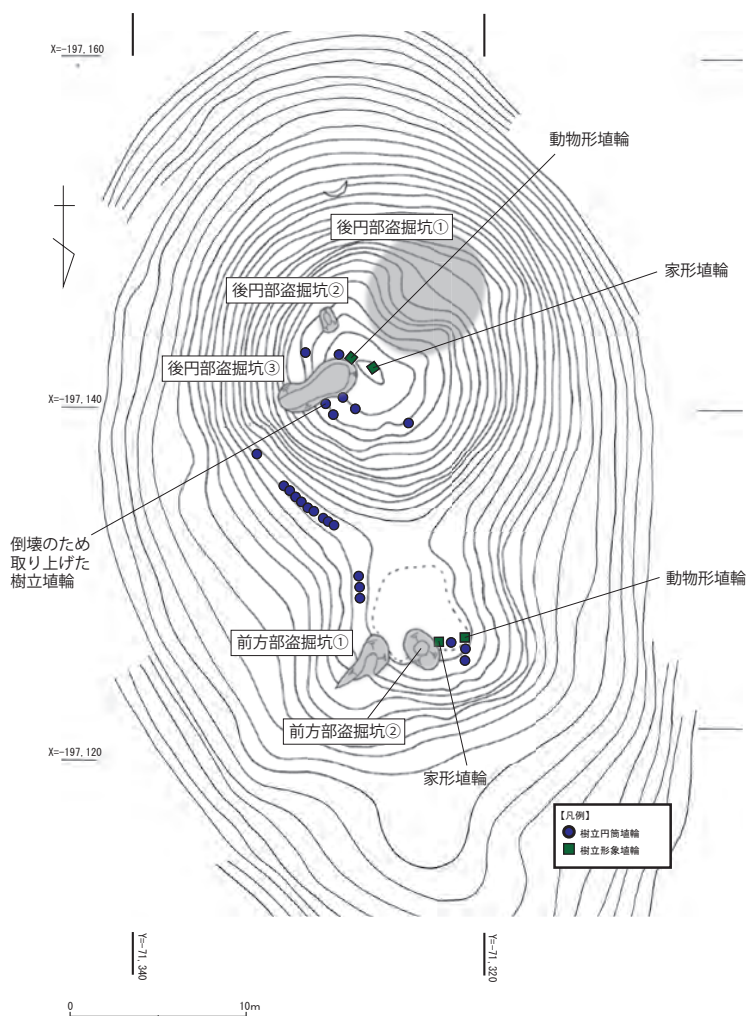
前方部端北側では、長さ約2.0m、幅約1.7m、深さ0.3mの浅い掘削痕を確認した。掘削痕表面の清掃を行ったが、前方部盗掘坑①と同様、石室石材や副葬品の出土は確認されていない。

以上のように、大日山1号墳では、墳丘上で樹立埴輪28本の検出と多数の埴輪、須恵器、土師器片を採集した。また、盗掘坑5箇所の記録作成を行った。

【参考文献】

関西大学文学部考古学研究室 1967『岩橋千塚』

和歌山県史編纂委員会 1983『和歌山県史』考古資料



大日山1号墳墳丘測量図及び盗掘坑・樹立埴輪位置図 (S=1/200)



写真3 後円部盗掘坑①全景（北東から）



写真4 後円部盗掘坑②全景（北東から）



写真5 後円部盗掘坑③全景（東から）



写真6 前方部盗掘坑①全景（南から）



写真7 前方部盗掘坑②全景（北東から）



写真8 後円部墳頂家形埴輪基部（北から）



写真9 東くびれ部樹立埴輪列（北から）



写真10 前方部東側形象埴輪出土状況（西から）

④和歌山県立考古民俗博物館（仮称）建設に伴う第2次～第5次試掘確認調査報告

1) 調査目的

和歌山県は平成29年4月に和歌山県長期総合計画を策定し、その中で和歌山県立紀伊風土記の丘（以下、「紀伊風土記の丘」とする。）の資料館を考古博物館に再編整備する事を記載した。これを受け紀伊風土記の丘では、平成31年3月に『和歌山県立考古民俗博物館（仮称）基本構想』（以下、「基本構想」とする。）を策定し、令和4年3月に『和歌山県立考古民俗博物館（仮称）基本計画』（以下、「基本計画」とする。）を策定した。

これらの基本構想及び基本計画では、紀伊風土記の丘の現資料館西側及び南側に新館の建設、さらに西側には駐車場や屋外体験広場が想定されているが、事業予定地の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地である岩橋千塚古墳群及び岩橋Ⅱ遺跡に該当し、さらに特別史跡岩橋千塚古墳群に隣接している。このため、施設の整備にあたっては埋蔵文化財の保護に十分に配慮した設計を行い、早期に試掘確認調査を実施して埋蔵文化財の有無を確認する必要がある。そこで、古墳等の埋蔵文化財の遺存状況を把握し、建設計画に際して埋蔵文化財の保護するため、事前に試掘確認調査を実施することとした。

試掘確認調査は、令和2年に実施した和歌山県立考古民俗博物館（仮称）建設に伴う第1次試掘確認調査に引き続き、令和3年7月から令和4年4月にかけて和歌山県立考古民俗博物館（仮称）建設に伴う第2次～第5次試掘確認調査（以下、「第2次調査～第5次調査」とする。）として実施した。

2) 調査成果

ア 第2次調査

第2次調査は、建設予定地西側の岩橋千塚古墳群の範囲を対象とした。調査地は緩やかな傾斜地を造成し、土地区画を形成している。調査に際しては地形に即してトレンチを計15箇所設定し、古墳及び周濠の有無を確認するため通常の確認調査よりもトレンチ間隔を狭くした。

2-1から2-6トレンチは第2次調査地の西、和歌山市教育委員会が平成26年に実施した調査地の周辺に設定した。緩やかな斜面を削り出し農地としているようであり、地形の改変は顕著ではない。2-1～2-3トレンチでは東西方向から北西方向の溝を検出している。遺構1は幅0.8～1.6mの溝であり、黄灰色の埋土からは古墳時代から奈良時代の須恵器蓋杯が出土している。2-4トレンチにおいてもこの溝の延長である遺構2を確認している。溝の埋土には結晶片岩の板石を多く含み、須恵器蓋杯、高杯が混じる。なお、2-1トレンチの南では現代の攪乱を検出したが、和歌山市教育委員会の調査において確認された周濠の延長は確認できなかった。2-7から2-11トレンチは第2次調査地の南西に設定した。2-1トレンチほかの調査地よりも一段高い土地区画にあり、現況は柑橘畑となる。2-7トレンチでは東西方向の遺構1とそれに直交する南北方向の遺構2を検出している。遺構1は幅0.8～1.1m、深さ約0.3mを測る。遺構2は遺構1に重複し、後出する形で検出した。遺構2の幅は約1.8m、深さ約0.5mを測る。遺構1・2からは平安時代から鎌倉時代の土師器、黒色土器が出土している。2-13トレンチの東側では、中世の南北方向の溝、焼土を含むピット2基、さらに炭化物、焼土が厚く堆積する江戸時代の火葬墓とみられる遺構2を確認した。遺構2からは、焼成骨のほか複数の寛永通宝及び土師器が出土した。

第2次調査では古墳時代、奈良時代～鎌倉時代にかけての東西方向の溝を確認したほか、土坑や溝状遺構を検出した。谷筋に直交する方向の溝であり、岩橋Ⅱ遺跡などの土地開発の状況を勘案すると、谷筋を流れる水流を排水するような性格を持つものと考えられる。また、土坑やピットなど浅い遺構も検出されていることから、現在の農地造成に伴う削平はそれほど受けておらず、丘陵裾部にかけて埋蔵文化財が遺存する範囲が広がると考えられる。なお、和歌山市教育委員会の調査において確認された円墳2基に連なる埋没古墳等は検出しておらず、これらの古墳がどの尾根筋の古墳群と連続するかは判然としない。

イ 第3次調査

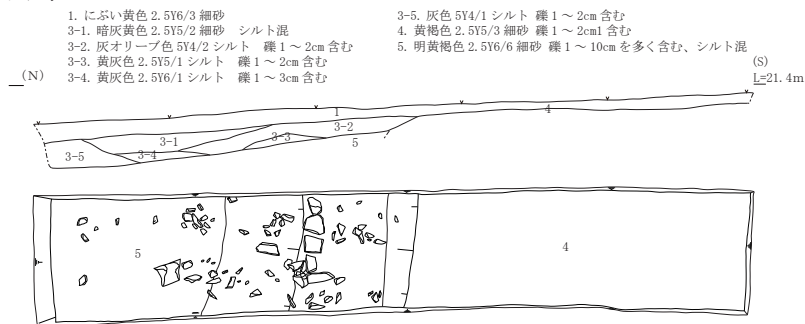
第3次調査は、現資料館の進入路を対象とした。調査に際しては、地形に即してトレンチを設定し、計24箇所の調査を行った。周知の埋蔵文化財包蔵地範囲外の試掘調査を含めた調査の結果、調査地は紀伊風土記の丘建設に伴い造成されており、現資料館周辺と進入路北側では1m以上の盛土が確認できた。

現資料館の南に設定した3-1トレンチでは、現資料館建設に伴う盛土下において溝を検出した。建設時の調査図面を確認すると現資料館ピロティに移築された前山B36号墳は3-1トレンチの北西付近に存在しており、建設工事に際して、前山B36号墳の移設が行われるなど周辺では大規模な盛土及び造成が行われていた。このため、古墳等は既に存在せず、一部でそれ以前の遺構を検出したと考えられる。

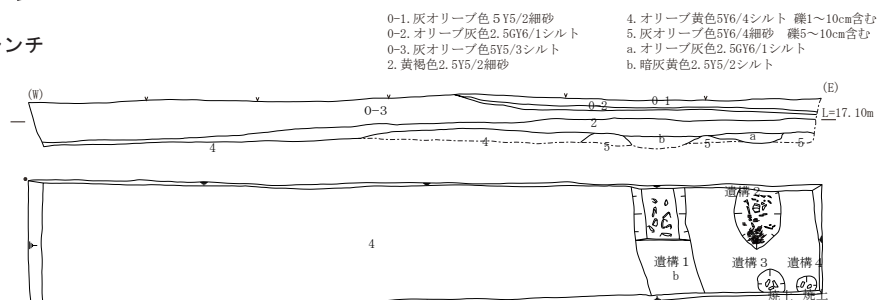


県立考古民俗博物館（仮称）建設に伴う試掘確認調査範囲及び調査成果（S=1/2,500）

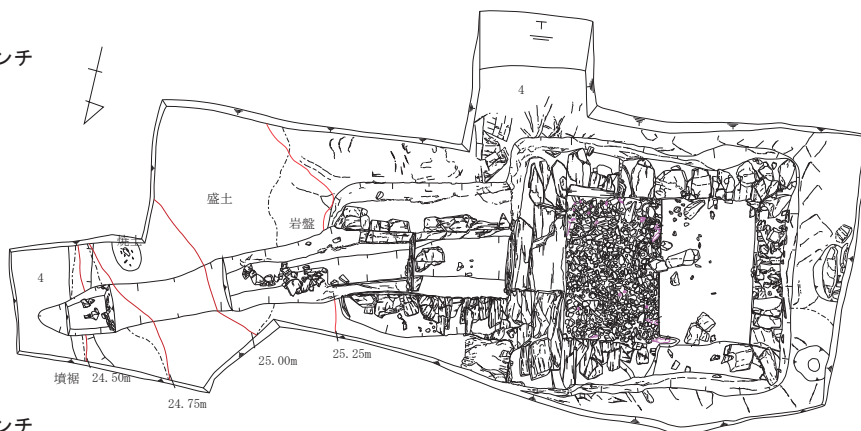
2-10トレンチ



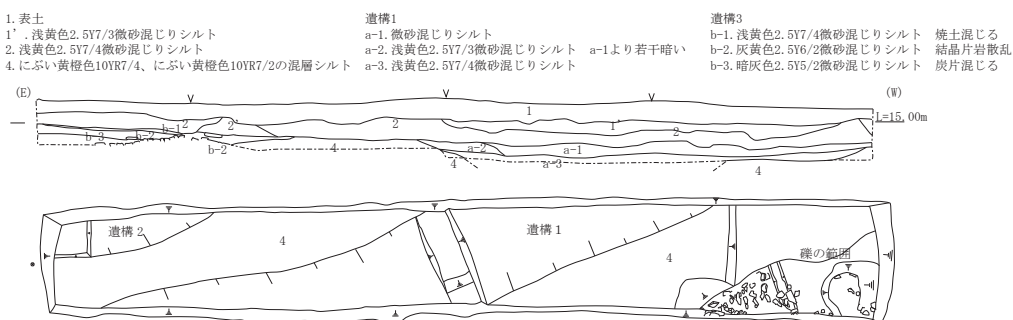
2-13トレンチ



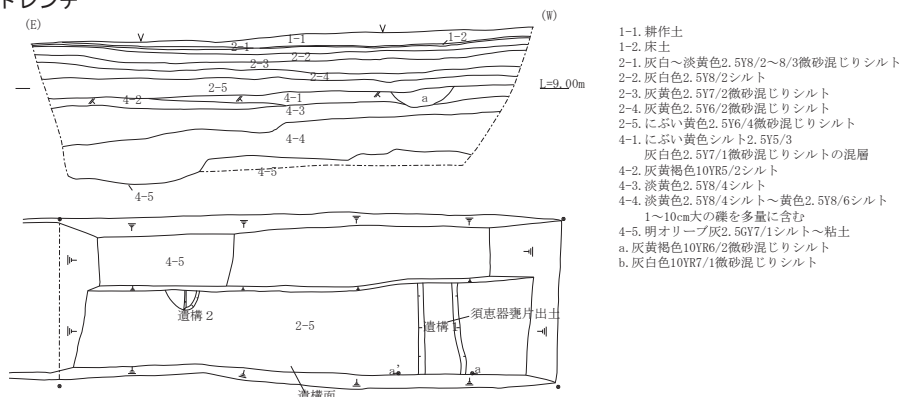
4-2トレンチ



4-7トレンチ



5-10トレンチ



県立考古民俗博物館（仮称）建設に伴う試掘確認調査平面図・土層図（S=1/100）

また、進入路部分の北側に該当する岩橋Ⅱ遺跡の範囲では、溝や土坑などの遺構を確認した。市11次調査で確認された屋敷地に関連する遺構である可能性が高いが、進入路西側～南側にかけては後背湿地が展開するようであり、進入路南側には埋蔵文化財が遺存する可能性は低い。

ウ 第4次調査

第4次調査は、岩橋千塚古墳群のうち建設予定地の中央に位置する万葉植物園北の尾根筋及び西側に存在する花木園東地区の尾根筋とその谷部を対象とした。万葉植物園北の尾根筋部分については、埋没古墳や墳丘が削平された古墳を確認するため、尾根に存在する平坦面を中心に伐採し、トレンチを計15箇所設定した。第4次調査では、途中、4基の古墳を検出したことから、特別史跡岩橋千塚古墳群整備検討会議や有識者の指導及び助言を得つつ、墳丘及び横穴式石室の規模を確認することを主眼として調査を進めた。第4次調査では、2か所の丘陵尾根上において古墳4基を発見した。

このうち前山B370号墳（仮称）は、横穴式石室の天井石や側壁は開墾による掘削により破壊されていたが、基底部分と一部の壁体が残存する。石室は長さ約10.8m範囲で発見されており、東側に開口し、墓道と羨道、玄室前道、玄室が確認された。墓道は長さ約4.2m、幅約0.7mで、墓道の端には墳丘東裾（端）が確認できる。また、横穴式石室は羨道、玄室の形に沿って岩盤を掘り込み、掘形に沿って壁体を積み上げている。玄室床面上の遺存状態は良好であり、原位置をとどめる副葬品も存在する。前山B370号墳（仮称）については、直径20mの規模を有し、一定規模以上の横穴式石室で、かつ金銅装馬具を副葬することから、前山A地区及び前山B地区における有力古墳の一つとして位置づけることができる。また、これら4基の古墳は地形の連続性に鑑みて、特別史跡地内の前山B地区と同一の古墳であると評価することができる。

なお、丘陵裾部では、現地形の造成に際しての盛土範囲においては、東西方向の溝を検出するなど埋蔵文化財を確認しているが、削平範囲では、表土及び耕作土直下で岩盤層となり、すでに大規模な削平を受けており埋蔵文化財が遺存しない公算が高い。このため埋蔵文化財の遺存状況については、現況の土地区画ごとに整理した。

エ 第5次調査

第5次調査は、岩橋千塚古墳群のうち新館建設予定地に対応する谷筋と、その西側に存在する現資料館の盛土部分を対象とした。現資料館西側では、資料館建設に際して大規模な盛土が行われており、表土下に1.0～2.6mの盛土が確認されている。盛土下では埋蔵文化財は確認されていないが、5-8、5-9トレンチでは盛土下で近世の水田畦畔及び水田、耕作に伴う溝が確認されている。

また、谷筋部分では農地造成のための盛土が堆積し、その下層では谷状地形の堆積土及び自然流路を確認した。5-10トレンチでは、谷状地形の基盤層となる第4層の上面において遺構面を確認している。遺構は南北方向の溝及び土坑を検出しており、遺構1（溝）からは古墳時代後期の須恵器甕が出土した。谷状地形の西側肩部とみられ、調査地西側には第4次調査で検出した一連の埋蔵文化財が遺存すると考えられる。

3) まとめ

以上の試掘確認調査のうち、第2次、第3次、第5次調査、第4次調査の一部については、令和4年度に試掘確認調査の出土遺物等整理を行った。調査成果の詳細については、『和歌山県埋蔵文化財調査年報－令和3年度－』に掲載しているので参照されたい。なお、第4次調査で検出した前山B370号墳（仮称）については玄室の床面埋土を土嚢で取り上げており、令和4年度に土壌水洗を実施するとともに玄室出土遺物のうち金属製品については保存処理が必要となる。このため、検出された4基の古墳の詳細と関連する第4次調査についての報告は、別途、報告を行う予定である。

【参考文献】

和歌山市教育委員会 2016『和歌山市内遺跡発掘調査概報』平成26年度

（公財）和歌山市文化スポーツ振興財団 2022『岩橋Ⅱ遺跡第11次調査報告書』

和歌山県教育委員会 2023「令和2年度の和歌山県内における埋蔵文化財の調査成果」『和歌山県埋蔵文化財調査年報－令和2年度－』和歌山県教育委員会（3月31日）



写真1 第2次調査 2-4 トレンチ遺構1・遺構3検出状況



写真2 第2次調査 2-6 トレンチ遺構2検出状況



写真3 第3次調査 3-1 トレンチ遺構検出状況



写真4 第3次調査 3-23 トレンチ遺構検出状況



写真5 第4次調査 4-2 トレンチ前山B370号墳(仮称)



写真6 第4次調査 4-3 トレンチ前山B369号墳(仮称)



写真7 第4次調査 4-15 トレンチ遺構検出状況



写真8 第5次調査 5-10 トレンチ遺構検出状況

Ⅲ 入館者の動向

年度別資料館入館者及び園内利用者数（令和３年３月３１日）

年度	(年目)	開館日数	資 料 館 入 館 者							園内利用者	
			有料			無料			合計		
			個人	団体	小計	個人	団体	小計			
46	1	199	48,684	23,825	72,509			0	72,509		
47	2	301	42,409	27,003	69,412			0	69,412		
48	3	305	26,924	26,038	52,962			0	52,962		
49	4	293	22,950	26,937	49,887			0	49,887		
50	5	295	19,878	30,365	50,243			0	50,243		
51	6	294	14,937	24,339	39,276			0	39,276		
52	7	295	12,334	29,302	41,636			0	41,636		
53	8	291	10,870	24,200	35,070			0	35,070		
54	9	303	9,667	25,231	34,898			0	34,898		
55	10	304	10,831	27,300	38,131			0	38,131		
56	11	294	10,262	22,140	32,402			0	32,402		
57	12	292	8,760	21,687	30,447			0	30,447		
58	13	295	8,021	21,065	29,086			0	29,086		
59	14	295	8,386	23,343	31,729			0	31,729		
60	15	263	7,428	23,782	31,210			0	31,210		
61	16	294	6,313	18,245	24,558			0	24,558		
62	17	295	5,993	15,998	21,991			0	21,991		
63	18	291	5,629	14,533	20,162			0	20,162		
1	19	295	6,244	16,559	22,803			0	22,803		
2	20	296	6,409	13,987	20,396			0	20,396		
3	21	293	6,216	14,209	20,425			0	20,425		
4	22	296	6,615	11,723	18,338			0	18,338		
5	23	290	5,883	11,153	17,036			0	17,036		
6	24	290	4,370	10,498	14,868	800		800	15,668		
7	25	288	3,966	8,809	12,775	3,621		3,621	16,396		
8	26	297	5,457	8,220	13,677	3,112		3,112	16,789		
9	27	305	5,670	8,169	13,839	3,773		3,773	17,612		
10	28	296	5,524	8,355	13,879	4,256		4,256	18,135		
11	29	296	4,520	7,606	12,126	3,988		3,988	16,114		
12	30	281	3,817	8,121	11,938	3,454		3,454	15,392		
13	31	306	4,963	8,733	13,696	4,182		4,182	17,878		
14	32	305	4,530	8,266	12,796	3,606		3,606	16,402		
15	33	307	4,741	8,448	13,189	3,991		3,991	17,180		
16	34	300	3,555	364	3,919	6,452	13,243	19,695	23,614	3,173	(民家利用者数)
17	35	122	2,052	156	2,208	5,649	11,621	17,270	19,478	15,006	(民家利用者数)
18	36	290	3,688	60	3,748	6,625	11,321	17,946	21,694	12,125	(民家利用者数)
19	37	309	3,017	535	3,552	6,212	10,795	17,007	20,559	11,292	(民家利用者数)
20	38	308	3,756	380	4,136	5,986	11,388	17,374	21,510	208,074	(園内利用者数)
										3,260	(民家利用者数)
21	39	307	3,128	297	3,425	5,426	10,289	15,715	19,140	210,235	(園内利用者数)
										2,730	(民家利用者数)
22	40	308	4,667	236	4,903	7,173	9,142	16,315	21,218	206,579	(園内利用者数)
										3,058	(民家利用者数)
23	41	301	3,326	346	3,672	4,683	11,182	15,865	19,537	210,368	(園内利用者数)
										2,395	(民家利用者数)
24	42	301	3,580	392	3,972	5,280	9,613	14,893	18,865	209,743	(園内利用者数)
										2,519	(民家利用者数)
25	43	300	3,580	302	3,882	5,152	10,402	15,554	19,436	208,844	(園内利用者数)
26	44	300	3,758	184	3,942	5,356	8,774	14,130	18,072	195,303	(園内利用者数)
27	45	300	3,140	87	3,227	4,930	8,255	13,185	16,412	198,511	(園内利用者数)
28	46	300	3,791	180	3,971	5,929	8,113	14,042	18,013	186,367	(園内利用者数)
29	47	300	4,026	143	4,169	6,492	8,715	15,207	19,376	191,821	(園内利用者数)
30	48	302	3,073	93	3,166	5,363	7,544	12,907	16,073	187,899	(園内利用者数)
元	49	302	3,515	49	3,564	7,082	7,245	14,327	17,891	197,181	(園内利用者数)
2	50	297	1,963	29	1,992	2,797	3,119	5,916	7,908	194,419	(園内利用者数)
3	51	300	2,742	61	2,803	4,045	4,432	8,477	11,280	195,188	(園内利用者数)
合計		14,887	419,558	582,083	1,001,641	135,415	165,193	300,608	1,302,249		

※無料入館者 平成6年11月3日から、65歳以上及び障害者等を無料とする。平成16年4月1日から、高校生以下を無料とする。平成16年度から高校生以下の団体の人数は「無料」の人数に含む。

※園内利用者 平成16年10月20日から民家（文化財民家4棟および復元竪穴住居）の利用者を集計（19年度で終了）。平成20年4月1日から自動利用カウンターにより、紀伊風土記の丘全体の園内利用者の集計を開始。
平成20年度以降の民家利用者数は、行ったイベント参加者を集計した。

Ⅳ 紀伊風土記の丘協議会

和歌山県博物館協議会条例に基づき、紀伊風土記の丘の博物館運営に関し、館長の諮問に応じ、館長に意見を述べる機関として設置している。令和3年度は2回開催したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から書面開催により実施した。

①開催状況

- 令和3年度 第1回紀伊風土記の丘評議会 書面開催

方 法：送付した協議会資料に添付した用紙に下記議案に対する承認、非承認、意見等を記入後、紀伊風土記の丘あてに返送する。

議 題：（１）令和2年度事業実施報告について （２）令和3年度予算及び事業内容について
（３）令和4年度以降の特別展・企画展案について

- 令和3年度 第2回紀伊風土記の丘評議会 書面開催

方 法：送付した協議会資料に添付した用紙に下記議案に対する承認、非承認、意見等を記入後、紀伊風土記の丘あてに返送する。

議 題：（１）令和4年度イベント案について （２）令和4年度特別展・企画展について
（３）令和3年度の入館者数について （４）特別史跡岩橋千塚古墳群整備事業について
（５）紀伊風土記の丘新館建設事業について （６）和歌山博物館施設デジタル化計画について

②紀伊風土記の丘協議会

紀伊風土記の丘協議会 名簿

氏 名	所属・役職等
和田 晴吾	兵庫県立考古博物館 館長
高瀬 要一	元紀伊風土記の丘 館長
酒井 千佳	前和歌山市立広瀬小学校 校長
千森 督子	和歌山信愛大学 教授
鳥居 賀柄子	元和歌山市子ども総合支援センター職員
平野 真理	一般社団法人ガールスカウト和歌山県連盟 監事
福田 光男	元和歌山市立雄湊小学校 校長
増渕 徹	京都橘大学 教授
松木 武彦	国立歴史民俗博物館 教授
森 隆男	元関西大学 教授
山神 達也	和歌山大学 准教授
山田 みゆき	株式会社テレビ和歌山 報道制作本部 制作部長待遇 アナウンサー

V 調査・研究

(1) 考古資料等の収集・調査に関すること

①資料の寄贈

該当なし

②調査研究活動

* 丹野拓

○発表等

- ・「県指定史跡 泣沢女古墳」『広川町耐久大学講座』於：藤並神社（11月13日）
- ・「岩橋千塚古墳群―紀伊国造家の首長墓群の抽出と検討―」『大王墓と紀伊の首長墓―百舌鳥・古市古墳群と岩橋千塚古墳群に映し出された政治と社会―』於：有楽町よみうりホール（2月13日）

○執筆等

- ・「岩橋千塚古墳群―紀伊国造家の首長墓群の抽出と検討―」「岩橋千塚古墳群の概要」『公開シンポジウム「大王墓と紀伊の首長墓―百舌鳥・古市古墳群と岩橋千塚古墳群に映し出された政治と社会―」資料集』和歌山県・堺市（2月刊行）
- ・「和歌山城跡東部における古墳時代から中世の様相―県第5次調査（裁判所地点）の成果を中心に―」『公開シンポジウム「和歌山城築城前―城の下に眠る遺跡の姿―」発表資料集』公益財団法人和歌山県文化財センター（3月刊行）
- ・「わかやま古墳めぐり⑧車駕之古址古墳 日本唯一の金製勾玉発見」『ニュース和歌山』（3月26日）
- ・「第1章・第2章」『わかやま古墳ガイド―行く・見る・楽しむ70スポット―』和歌山県立紀伊風土記の丘編、ニュース和歌山株式会社発行（3月31日）

* 萩野谷正宏

○発表等

- ・特別展講座第1回「紀伊半島をめぐる弥生時代の東西交流」於：紀伊風土記の丘（10月10日）
- ・連続講座岩橋千塚第17回「岩橋型石室の終焉について」於：紀伊風土記の丘（12月16日）

○執筆等

- ・「紀伊半島をめぐる東西交流と黒潮・素描」『紀伊半島をめぐる海の道と文化交流 予稿集・論考集』（11月25日）
- ・『令和3年度特別展図録 海に挑み、海をひらく―きのくに七千年の文化交流史―』（蘇理剛志と共著）（10月1日）

* 田中元浩

○発表等

- ・日本考古学協会第87回（2021年度）総会「古墳時代における海浜集落と骨角器生産－和歌山県西庄遺跡の再検討－」田中元浩・丸山真史・仲辻慧大・金澤舞・岩井顕彦・佐藤純一・玉置梨沙・濱崎範子・森田真由香・田之上裕子・石丸彩 於：オンライン（5月23日）
- ・紀伊考古学研究会第3回例会通算167回「慈尊院地区の近世堤防－絵図に描かれた堤防・護岸遺構－」於：オンライン（8月22日）
- ・連続講座岩橋千塚第16回「和歌山県の鏡について」於：紀伊風土記の丘（9月12日）
- ・岩出市歴史講座「根来寺遺跡と遺跡の整備－ねごろじサイトミュージアム・根来寺遺跡展示施設の整備を通じて－」於：和歌山県議会議事堂（9月26日）
- ・特別展講座第1回「海を介した交流の再検討―古墳時代の紀伊半島を中心に―」於：紀伊風土記の丘（10月10日）
- ・地宝のひびき－和歌山県内埋蔵文化財調査報告会－「絵図に描かれた近世堤防－慈尊院Ⅱ遺跡、慈尊院中小路地先遺跡の発掘調査－」於：動画配信（2月）
- ・歴史から学ぶ防災2021－命と文化遺産を守る―現地学習会「龍松山城跡と山本氏」於：上富田町文化会館・動画配信（2月26日）
- ・上富田町まちづくり講座コーディネーター「山本氏と関連城跡群を未来に残すために」於：上富田町文化会館・動画配信（3月12日）
- ・古代学研究会拡大例会シンポジウム弥生後期社会の実像―集落構造と地域社会―「紀伊における弥生時

- 代後期の集落変化」コーディネーター「ディスカッション」三好玄・田中元浩於：オンライン（3月5日）
- 執筆等
- ・「第Ⅰ章・第Ⅱ章・第Ⅲ章」『磯間岩陰遺跡の研究』考古報告編田辺市教育委員会・科学研究費磯間岩陰遺跡研究班（5月31日）
 - ・「Ⅺ 古墳時代における海辺の墓制と集落—紀伊半島の事例から—」『磯間岩陰遺跡の研究』考察編田辺市教育委員会・科学研究費磯間岩陰遺跡研究班（5月31日）
 - ・「(12) 古墳時代における海浜集落と骨角器生産—和歌山県西庄遺跡の再検討—」『日本考古学協会第87回（2021年度）総会発表要旨』日本考古学協会、丸山真史・仲辻慧大・金澤舞・岩井顕彦・佐藤純一・玉置梨沙・濱崎範子・森田真由香・田之上裕子・石丸彩と共著 於：オンライン（5月22日）
 - ・「龍松山城跡と坂本付城跡-山本氏関連城館群の調査から-」『和歌山地方史研究』第81巻（7月29日）
 - ・「和歌山県白浜町綱不知岩陰遺跡出土資料—浦宏収集資料の図化成果（その3）」『紀伊考古学研究』第24号（8月31日）
 - ・「紀伊半島における骨角製釣針」『海洋考古学会—擬餌針を追う魚たち—』海洋考古学会第11回研究会資料集（9月20日）
 - ・「わかやま古墳めぐり①プロローグ～豪族「紀氏」の力 誇示」『ニュース和歌山』（9月25日）
 - ・「隅田八幡神社蔵「人物画像鏡」の出土地について—生地亀三郎1952『国宝人物画像鏡の出土地「妻之古墳」の研究』から『紀伊の戦前・戦後の考古学—知られざる資料の再発掘—』紀伊考古学研究会第24回大会資料集（10月9日）
 - ・「海を介した交流の再検討—古墳時代の紀伊半島を中心に—」海に挑み、海をひらく—きのくに七千年の文化交流史—関連シンポジウム『紀伊半島をめぐる海の道と文化交流』予稿集（11月21日）
 - ・「絵図に描かれた近世堤防—慈尊院Ⅱ遺跡、慈尊院中小路地先遺跡の発掘調査—」『地宝のひびき—和歌山県内埋蔵文化財調査報告会—』発表要旨集（1月31日）
 - ・「わかやま古墳めぐり⑤将軍塚古墳～「王」を支えた「将軍」の墓」『ニュース和歌山』（1月22日）
 - ・「近畿地方南部地域における弥生時代中期から後期への移行過程の検討」『国立歴史民俗博物館研究報告』第231集、国立歴史民俗博物館、深澤芳樹・浅井猛宏・荒木幸治・石井智大・杉山真由美・中井和志・三好玄・山本亮・渡邊誠と共著（2月25日）
 - ・「龍松山城跡と山本氏（上富田町市ノ瀬）」『先人が残してくれた「災害の記憶」を未来に伝える』Ⅶ、和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会（2月26日）
 - ・「龍松山城跡と山本氏」『歴史から学ぶ防災2021—命と文化遺産を守る—現地学習会』発表要旨集、和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会（2月26日）
 - ・「紀伊における弥生時代後期の集落変化」『古代学研究会拡大例会シンポジウム弥生後期社会の実像—集落構造と地域社会—』発表資料集、古代学研究会（3月5日）
 - ・「令和2年度のと歌山県内における埋蔵文化財の調査成果」『和歌山県埋蔵文化財調査年報—令和2年度—』和歌山県教育委員会（3月31日）
 - ・「プロローグ・第1章・第5章・エピローグ」『わかやま古墳ガイド—行く・見る・楽しむ70スポット—』和歌山県立紀伊風土記の丘編、ニュース和歌山株式会社発行（3月31日）
 - ・「松下記念資料館の建築をめぐって—理念と意匠、その誕生の秘密—」『紀伊風土記の丘研究紀要』第10号、和歌山県立紀伊風土記の丘（3月31日）

*金澤舞

○執筆等

- ・「海に生きる人々」『わかやまの子どもと教育』第81号 和歌山県国民教育研究所（9月1日）
- ・「大日山35号墳～全国に例のないユニーク埴輪」『ニュース和歌山』（10月23日）
- ・「古墳時代の海と祭祀—和歌山県内の滑石製模造品と祭祀遺跡—」海に挑み、海をひらく—きのくに七千年の文化交流史—関連シンポジウム『紀伊半島をめぐる海の道と文化交流』予稿集 和歌山県立紀伊風土記の丘（11月21日）
- ・「天王塚古墳～石室に見る被葬者の権力」『ニュース和歌山』（11月27日）
- ・「暮らしをトキめかせる古墳」『わかやまの子どもと教育』第82号 和歌山県国民教育研究所（12月1日）
- ・「大谷山22号墳～多彩な埴輪群像」『ニュース和歌山』（12月25日）
- ・「古代学への提言82—三次元計測と岩橋千塚古墳群」『古代学研究』第230号 古代学研究会（11月）

- ・「横穴式石室と埴輪からみた岩橋千塚古墳群花山2号墳の築造時期―宮田啓二著『昭和二七年秋冬 岩橋千塚古墳群調』の検討を中心に―」『紀伊の戦前・戦後の考古学 - 知られざる資料の再発掘 - 』紀伊考古学研究会第24回大会資料集 紀伊考古学研究会（10月9日）
- ・「和歌山大学所蔵の伝岩橋千塚古墳群出土品について（2）：銅鏡及び耳環、玉、陶質土器」『紀州経済史文化史研究所紀要』第42号 和歌山大学紀州経済史文化史研究所 石丸 彩・岩本 崇・瀬谷 今日子・中西 瑠花・仲原 知之・馬場 彩加と共著（12月24日）
- ・「古代の文字と文房具」『わかやまの子どもと教育』第83号 和歌山県国民教育研究所（3月1日）
- ・「岩橋千塚古墳から出土した耳環表面材質の分析について」『紀伊風土記の丘研究紀要』第10号 和歌山県立紀伊風土記の丘（3月31日）
- ・「井辺八幡山古墳の太鼓形埴輪について」『紀伊風土記の丘研究紀要』第10号 和歌山県立紀伊風土記の丘 井辺八幡山古墳検討会（3月31日）
- ・「宮田啓二『昭和二七年秋冬 岩瀬千塚古墳群 調』―大谷山地区編―」『紀伊風土記の丘研究紀要』第10号 和歌山県立紀伊風土記の丘 石丸 彩・瀬谷 今日子・富永 里菜・中西 瑠花・仲原 知之・馬場 彩加と共著（3月31日）
- ・「第1章・第4章」『わかやま古墳ガイド―行く・見る・楽しむ70スポット―』和歌山県立紀伊風土記の丘編、ニュース和歌山株式会社発行（3月31日）

（2）民俗資料の収集・調査に関すること

①資料の寄贈

- ・着物類ほか衣生活資料 一括（和歌山市加太）
- ・すし箱ほか食生活関連用具 6点（広川町広）
- ・炭俵編み具 1点（日高川町西野川）

②調査研究活動

*蘇理剛志

○発表等

- ・展示講座①（春期企画展）「紀州の獅子と獅子頭」 於：紀伊風土記の丘（4月18日）
- ・秋期特別展関連講座（第4回）「年表から読み解く紀州漁民の活躍」 於：紀伊風土記の丘（10月31日）
- ・第36回国民文化祭御坊市公演「茂山狂言と戯瓢箪」（舞台解説） 於：御坊市民会館、主催：第36回国民文化祭御坊市実行委員会（11月3日）
- ・秋期特別展関連企画「きのくに海の民俗芸能公演」（芸能解説） 於：紀伊風土記の丘（11月15日）
- ・秋期特別展シンポジウム「紀伊半島をめぐる海の道と文化交流」 報告「紀伊半島沿岸における海の生業と文化（民俗分野）」 於：紀伊風土記の丘（11月21日）
- ・萩博物館 特別展「旅と人と萩と」記念講演「西国巡礼の信仰習俗―それぞれの旅と祈りと―」 於：萩博物館（山口県萩市）（12月18日）
- ・近畿民具学会 第279回談話会「地域博物館における民俗研究と展示―和歌山県立紀伊風土記の丘の場合―」 於：オンライン（2月27日）
- ・学芸員講座「連続講座 熊野」第6回「熊野の信仰と祭り（2）熊野本宮大社の祭礼行事」 於：紀伊風土記の丘（3月20日）

○執筆等

- ・「コロナ禍における民俗文化財への影響：和歌山県の場合」『明日への文化財』85号 文化財保存全国協議会（7月）
- ・『令和3年度秋期特別展図録 海に挑み、海をひらく―きのくに七千年の文化交流史―』萩野谷正宏と共著 和歌山県立紀伊風土記の丘（10月1日）
- ・「紀州網漁の編年史的把握のために」秋期特別展関連シンポジウム『紀伊半島をめぐる海の道と文化交流 予稿集・論考集』和歌山県立紀伊風土記の丘（11月）
- ・第5章第2節「傘鉾」、第6章第1節「祭礼の特色」、同第2節10「紀道祭」・16「松原真妻祭」『御坊祭民俗文化財調査報告書』御坊市教育委員会（3月）
- ・【資料紹介】柳川コレクション資料目録（3）―陶磁器類を中心に―『紀伊風土記の丘研究紀要』第10号 和歌山県立紀伊風土記の丘（3月31日）

職員名簿（令和３年度）

職 名		氏 名
館 長		中 村 浩 道
副 館 長		中 村 拓 司
課 名	職 名	氏 名
総 務 課	課 長	畑 崎 伸 仁
	主 任	森 敦 久
	主 査	川 崎 康 弘
	主 査	竹 内 宏 治
	主 事	植 田 拓 真
	清掃作業員（会計年度任用職員）	岩 上 宏 子
	体験学習補助員（会計年度任用職員）	植 松 裕 太
	受付窓口業務員（会計年度任用職員）	奥 山 容 子
	公園整備員（会計年度任用職員）	出 島 徹 也
	移築民家管理員（会計年度任用職員）	林 智 津子
	公園整備員（会計年度任用職員）	松 本 誠
	公園整備員（会計年度任用職員）	大久保 善 博
	移築民家管理員（会計年度任用職員）	森 田 恵 子
	公園整備員（会計年度任用職員）	雑 賀 陽
学 芸 課	課 長	丹 野 拓
	主任学芸員	萩野谷 正 宏
	主査学芸員	蘇 理 剛 志
	主査学芸員	田 中 元 浩
	学芸員	金 澤 舞
	埋蔵調査員（会計年度任用職員）	立 岡 瑞 穂
	埋蔵整理作業員（会計年度任用職員）	玉 井 朱 美
	埋蔵整理作業員（会計年度任用職員）	谷 口 敦 子
	埋蔵調査員（会計年度任用職員）	水 田 久 枝
	園内植物管理員（会計年度任用職員）	松 下 太

